

2019 年版

介護労働実態調査

- 施設（通所・入所）・居宅介護支援事業所
- 訪問介護・ヘルパー

報告集



全国労働組合総連合

目次

全労連 介護労働実態調査 結果報告	2
全労連「介護労働実態調査」のポイント	3
1. 回答者の基本的属性＝介護労働者の実際	3
2. 賃金実態と賃金要求	4
3. 人手不足と深刻な労働実態	4
4. ハラスメント	5
5. 仕事のやりがいと「もうやめたい」という思い	5
6. 労働組合未加入者の労働組合に対する意識	6
I. 介護労働実態調査―施設（入所・通所）、居宅介護支援	7
1. 回答者の基本的属性	8
2. 調査結果	13
3. 自由記述	34
II. 介護労働実態調査―訪問介護・ヘルパー	39
1. アンケート結果の特徴	40
2. 調査結果	49
3. 自由記述	65
III. 調査票	73
1. 介護労働実態調査―施設（入所・通所）・居宅介護支援事業所用	73
2. 介護労働実態調査―訪問介護・ヘルパー用	77

調査名 ・介護労働実態調査―施設（入所・通所）、居宅介護支援
・介護労働実態調査―訪問介護労働者

実施期間 2018年10月1日から2019年1月31日

対 象 訪問介護及び施設、居宅介護支援事業所などで働く介護労働者

配布・回収方法

- ・全労連加盟組合を通して、組合員と未加入労働者に配布、回収。
- ・一部、未組織職場への訪問・郵送による配布、回収（直接・郵送など）

目 的

- ① 介護で働く労働者の労働実態を明らかにし、19春闘など労働環境改善の要求につなげる。
- ② 結果報告を活用し、介護労働者自身が職場や地域で、自分たちの労働実態の改善、組織強化につなげる。
- ③ 結果報告を活用し、事業者団体や職能団体と懇談、制度改善運動の共同を広げる。
- ④ 結果報告を地域の事業所訪問などに活用し、未組織の組織化、組合員拡大につなげる。



10代	0.0%
20代	1.0%
30代	5.9%
40代	20.2%
50代	35.3%
60代	30.2%
70代	7.5%

ほんとうに深刻な人手不足！～人手不足と労働強化が悪循環に陥っている

① 施設介護労働者

4人に1人の労働者に不払い残業があります(25%)。その内容は、「情報収集・記録」(63.2%)や「ケアの準備・片付け」(36.2%)、「利用者のケア・家族などへの対応」(36.1%)、「会議・委員会・研修」(31.2%)です(()内は終業後残業のもの)。請求できる雰囲気になく(40.3%)、ほとんどの労働者(70.9%)が自分から請求をあきらめています。

公休も4人に1人(23.5%)が予定通り取れていません。年休は「取れない」(8.4%)、「1～5日」(40.8%)で約半数となっています。特に、夜勤のある職場が年休を取れないと答えています(夜勤のある職場では5日以下が59.1%だが、夜勤のない職場では36.9%)。9割近くの労働者(88.5%)が生理休暇を取っていません。妊娠した女性労働者の半分以上が「順調ではない」と答えています(順調45.5%、それ以外54.5%)。妊娠時に必要な業務軽減措置がとられていません(作業の制限が48.3%、夜勤・当直免除が43.7%、軽易な作業への転換が33.8%、時間外勤務免除が13.2%などとなっています)。

半数の労働者が健康に不安を持っています(健康に不安44.9%、病気がち5.0%)。腰痛と肩こりが圧倒的(ともに53.1%)で、倦怠感(31.3%)、頭痛(28.4%)、イライラ感(25.4%)を抱えています。

② 訪問介護労働者

人手が不足していると答えた人が全体では57.5%で、特に正規労働者では82.7%と圧倒的です。人手不足の影響は、「ヘルパーが高齢化している」50.1%、「予定外の訪問が入る」

賃金の改善と人手不足の解消は緊急の課題～多くの労働者が仕事のやりがいを感じ、介護の仕事をやってよかったと考えているが、「賃金が安く、仕事が忙しすぎる、つらすぎる」ため、もうやめたいと思っている～

①施設介護労働者

今の仕事にやりがいを感じる人が65.3%いますが、前回調査より2.5ポイント低下しています。介護の仕事をしてよかったと思う人も65.5%います。

しかし、「こんな仕事やめたいと思うことがあるか」に対し「いつも」10.8%、「ときどき」53.7%と深刻です。その合計は前回調査より7.2ポイントも悪化しています。特に正規職員で深刻です（「いつも」が12.9%、「ときどき」が56.7%で、全体平均より5.1ポイントも多い）。仕事をやめたい理由は、「仕事がつらい・忙しすぎる・体力が続かない」が55.9%とトップで、続いて「賃金が安い」の39.9%となっています。

過半数が健康面（52.9%）、将来の生活（51.6%）に不安を感じています。

夜勤従事者では約8割（79.1%）が夜勤を負担に感じています。「夜間の長時間労働が辛い」42.1%、「夜間、急変した利用者への対応が不安」38.0%、「職員体制が少なく業務が過重」29.1%、「夜勤手当が安い」29.1%、「休憩・仮眠が取れない」22.3%となっています。

利用者への十分なサービスができているかは、「できている」「ほぼできている」が36.6

未加入者の約3割が労働組合を必要と思っているが、わからない人も3分の2を占めている

①施設介護労働者

アンケートに答えた人の内、労働組合未加入者は917人（26.4%）で、その内「労働組合が必要だ」と答えた人は33.0%、「必要でない」は4.3%、「わからない」が62.7%でした。

②訪問介護労働者

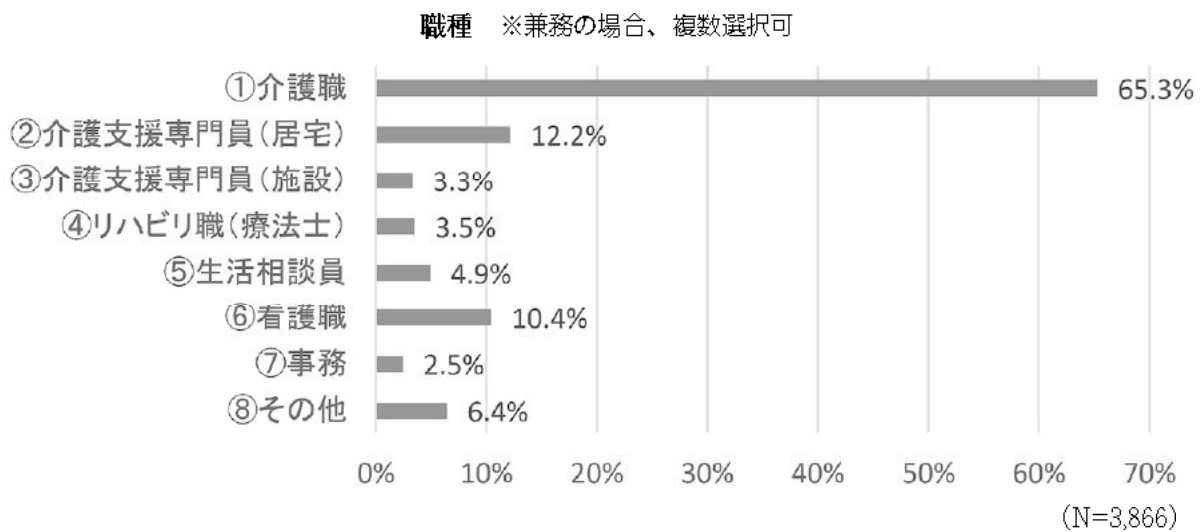
アンケートに答えた人で労働組合未加入の労働者は772人（46.4%）で、その内「労働組合が必要だ」と答えた人は24.0%、「必要でない」は8.1%、「わからない」が67.9%でした。

※介護福祉で働く労働者全体の組織率は3.5%ですが、本調査で未組織労働者の3割が労働組合の必要性を感じていることが明らかになりました。「わからない」とした人も含め組合からの積極的な働きかけが必要です。

（以上）

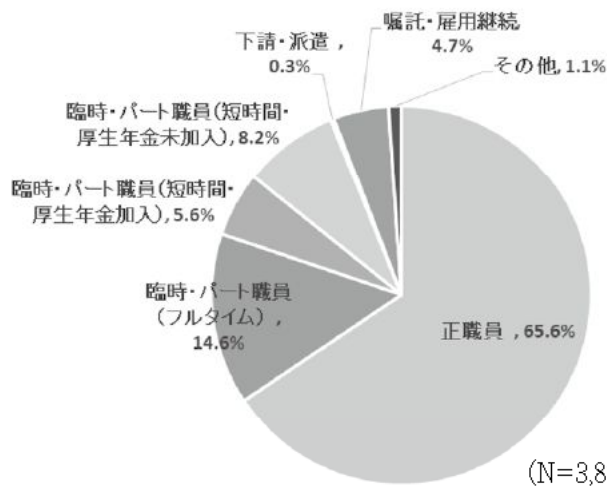


I



①介護職	2524	65.3%
②介護支援専門員(居宅)	470	12.2%
③介護支援専門員(施設)	128	3.3%
④リハビリ職(療法士)	136	3.5%
⑤生活相談員	190	4.9%
⑥看護職	403	10.4%
⑦事務	95	2.5%
⑧その他	249	6.4%
回答者数	3,866	100.0%

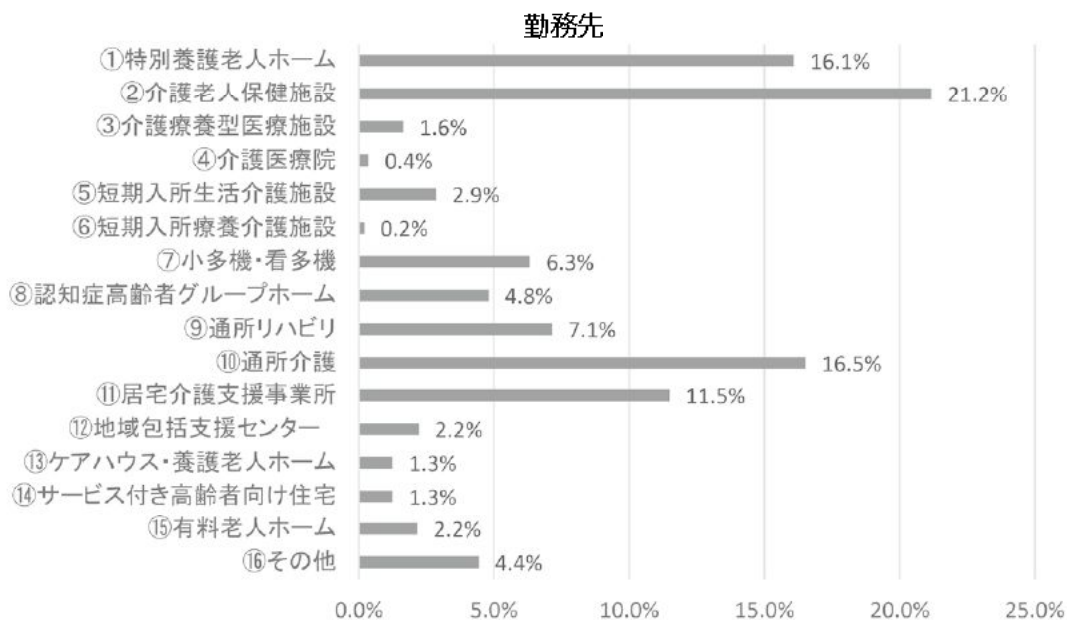
雇用形態



①正職員	2,541	65.6%
②臨時・パート職員(フルタイム)	566	14.6%
③臨時・パート職員(短時間・厚生年金加入)	216	5.6%
④臨時・パート職員(短時間・厚生年金未加入)	316	8.2%
⑤下請・派遣	11	0.3%
⑥嘱託・雇用継続	183	4.7%
⑦その他	42	1.1%

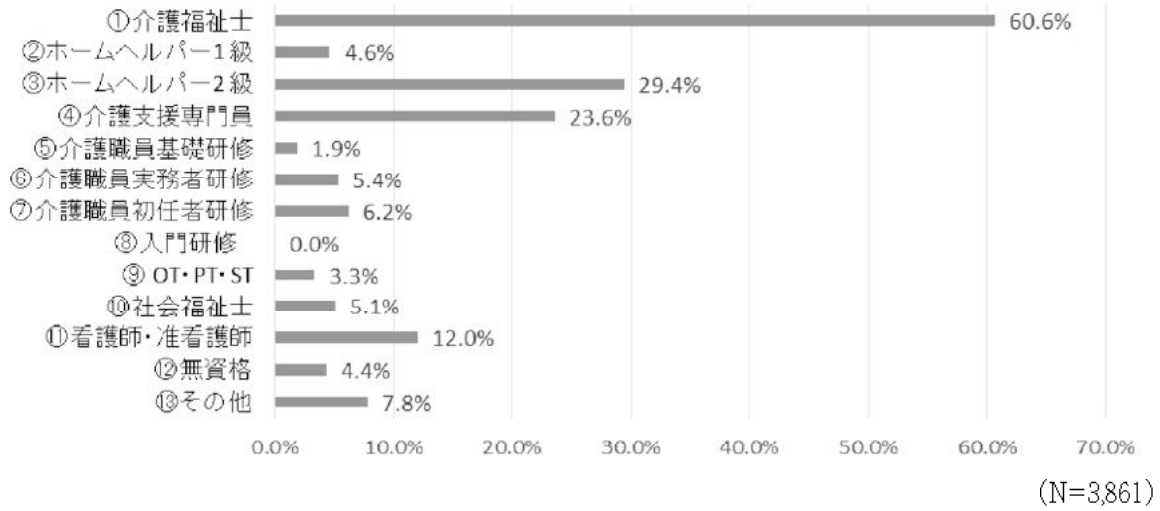
※この後の分析では特に断りのない場合、正規職員以外を非正規職員とします。

6) 勤務先 介護保険4施設(特別養護老人ホーム 16.1%、介護老人保健施設 21.2%、介護療養型医療施設 1.6%、介護医療院 0.4%)が4割を占めています。その他は、通所介護 16.5%、居宅介護支援事業所 11.5%などとなっています。

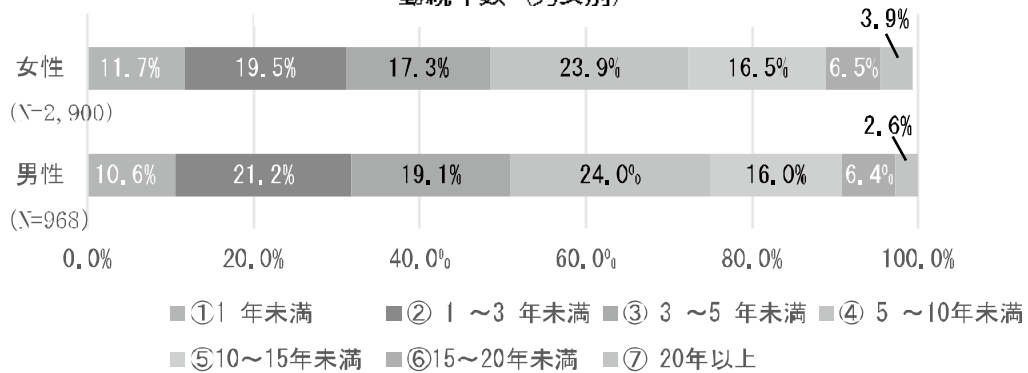


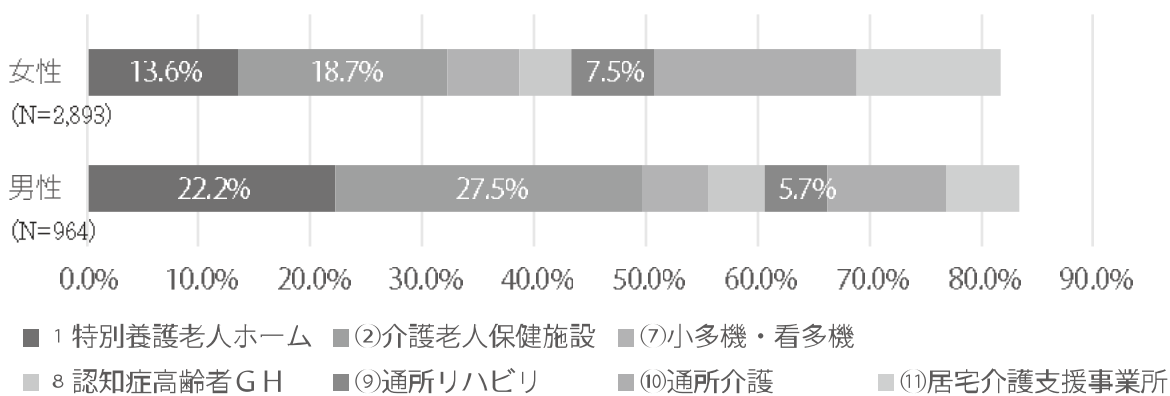
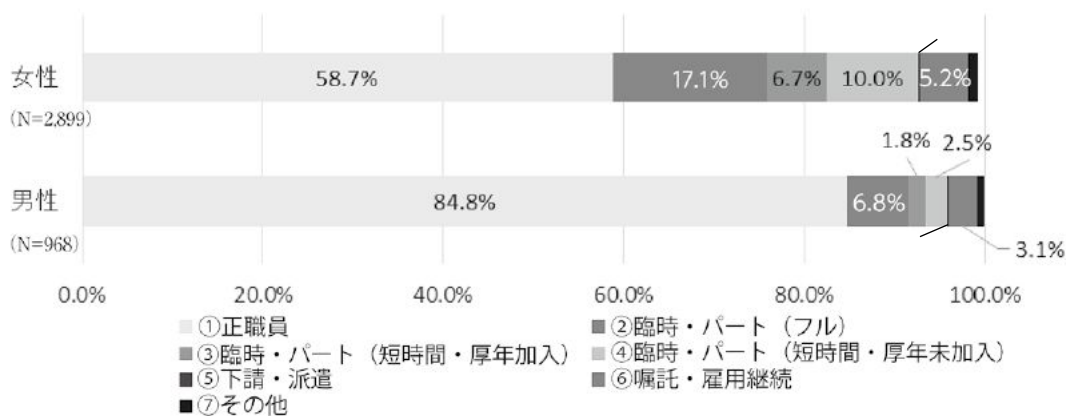
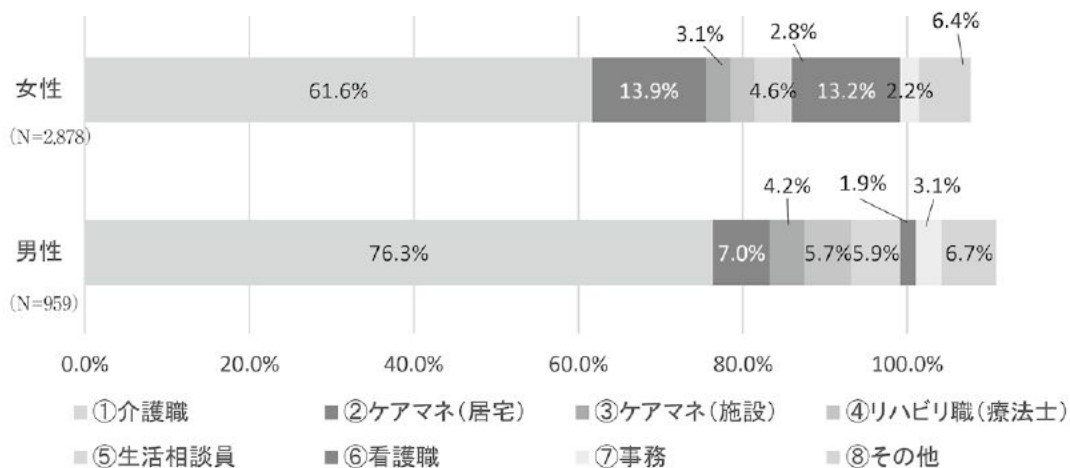
(N=3,821)

保有資格（複数回答）



勤続年数（男女別）





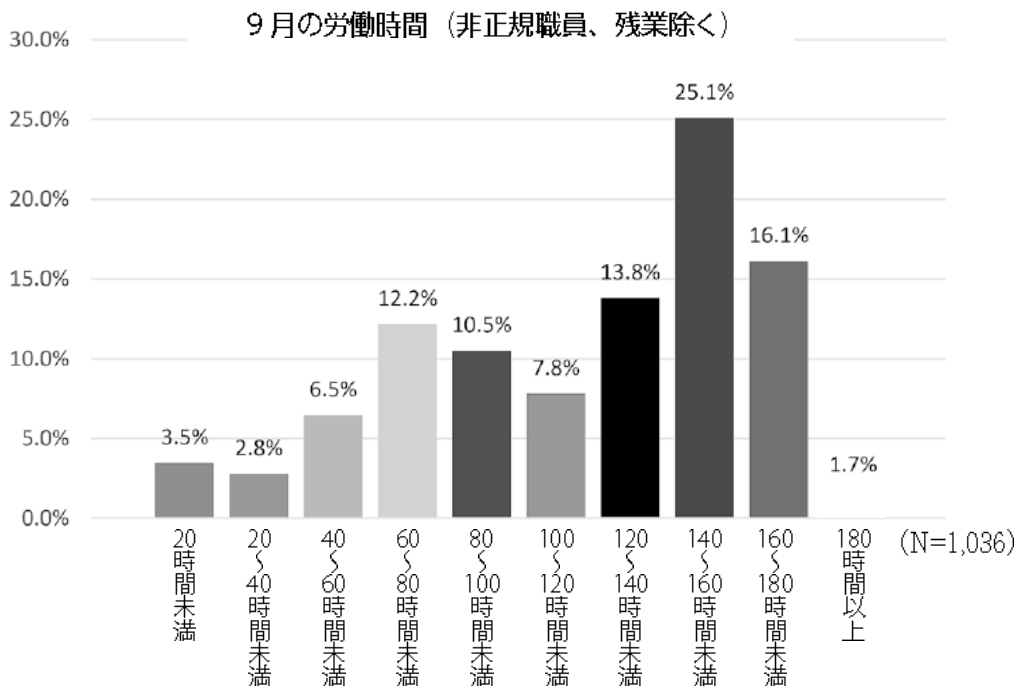
--

	Aランク	Bランク	Cランク	Dランク	
正規職員(千円)	252.1	250.1	228.6	222.1	N=1,789
非正規職員(円)	1156	1130	1082	921	N=826

月の平均労働時間は 140.0 時間～非正規職員の 4 割以上が正規職員並み

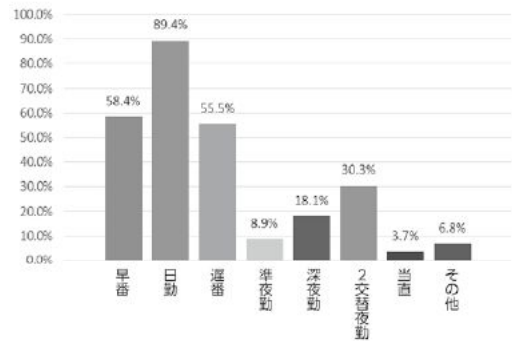
問 2 9 月の労働時間はどれくらいでしたか

全体の労働時間は平均 140.0 時間でした。雇用形態別にみると、正規職員は 140 時間～160 時間未満との回答が最も多く、平均では 156.6 時間でした。非正規職員は平均 115.0 時間となっており、4 割以上の方が正規職員並み（140 時間以上）に働いていることが明らかになっています。非正規職員の中では、嘱託・雇用継続が最も長い平均 138.3 時間、次いでフルタイムが平均 134.5 時間となっています。最も短かったのはパート・臨時（短時間・年金未加入）で平均 71.1 時間となっています。



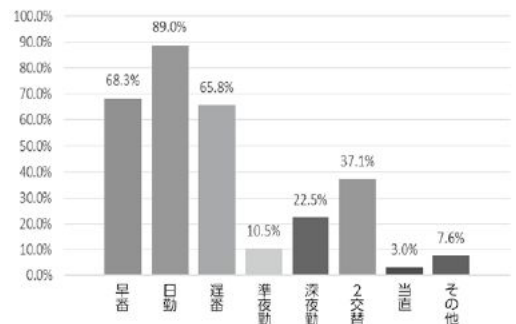


9月の勤務（シフト）



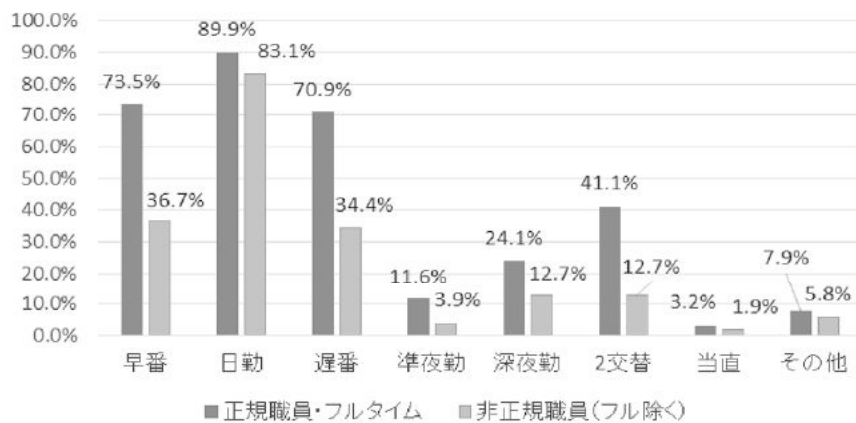
(N = 2,992)

介護職の9月の勤務（シフト）



(N = 2,191)

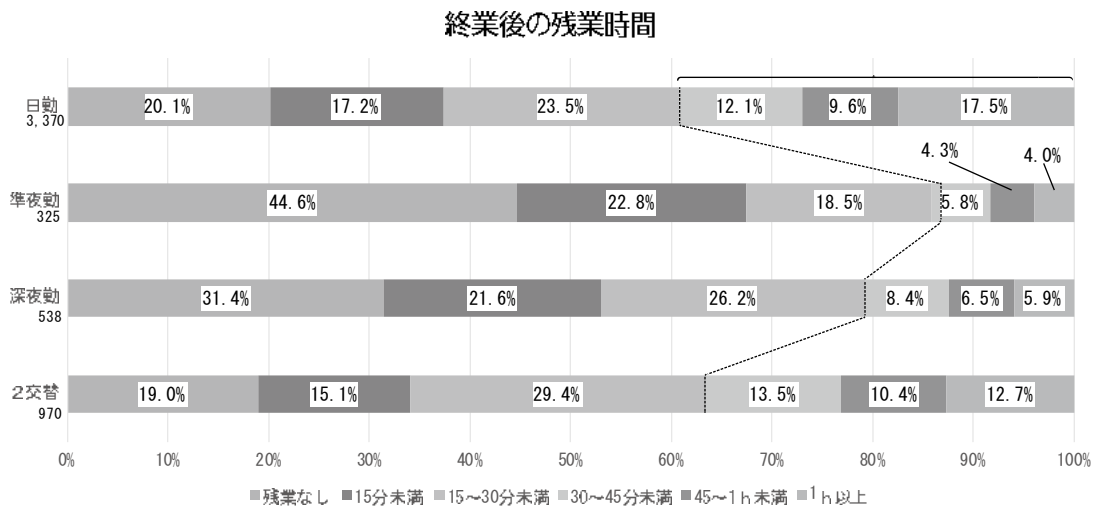
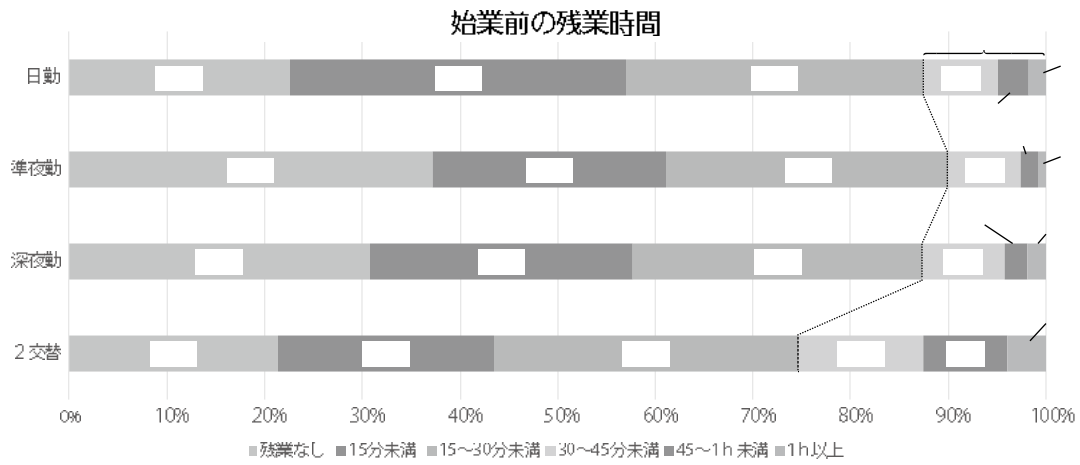
雇用形態別・介護職の9月の勤務（シフト）



(N = 1,883)

(N = 308)

介護職	平均シフト数	最大	
正規職員・フルタイム	3.4 通り	10 通り	N=1,883
非正規職員（フル除く）	2.1 通り	11 通り	N=308

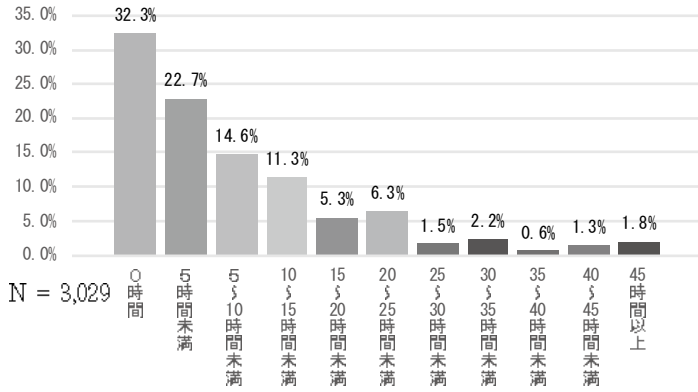


終業後の時間外労働について、「時間外がない」と回答した人は準夜勤帯で4割超と、始業前の時間外労働に比べて高くなっています。それ以外の時間帯についても、始業前と同様に多くの職員が時間外労働をしていることが明らかになっています。

終業後の時間外労働時間が長い傾向にあるのが日勤帯と2交替の夜勤帯で、「30分以上」は4割近くを占めています。日勤帯では、「1時間以上」が17.5%を占めています。



9月の時間外労働





不払い残業 (N = 2,632)

0時間	75.0%
5時間未満	8.8%
5～10時間未満	6.7%
10～15時間未満	4.2%
15～20時間未満	1.4%
20～25時間未満	1.7%
25～30時間未満	0.4%
30～35時間未満	0.4%
35～40時間未満	0.3%
40～45時間未満	0.5%
45時間以上	0.6%
合計	100.0%

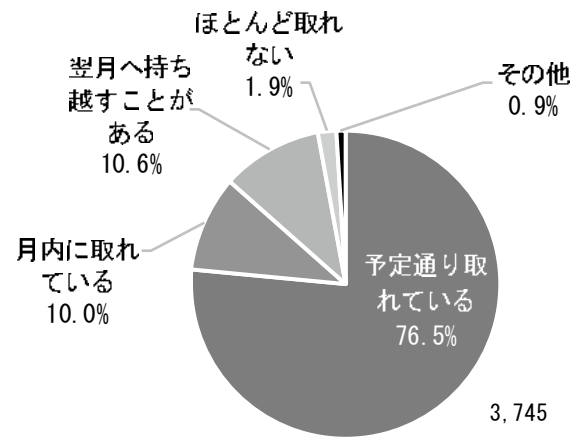
※問5で時間外労働はないと答えた人を除いています



不払い時間外労働	始業前	終業後
①利用者へのケア・家族等への対応	23.8%	36.1%
②ケアの準備・片づけ	47.6%	36.2%
③情報収集・記録	71.1%	63.2%
④レク・施設行事	5.6%	9.3%
⑤レク・施設行事の準備	10.4%	17.9%
⑥利用者の送迎	3.2%	5.2%
⑦会議・委員会・研修等	6.2%	31.2%
⑧職場ミーティング	10.6%	17.3%
⑨その他	7.9%	11.7%
	N=987	N=996

--

--

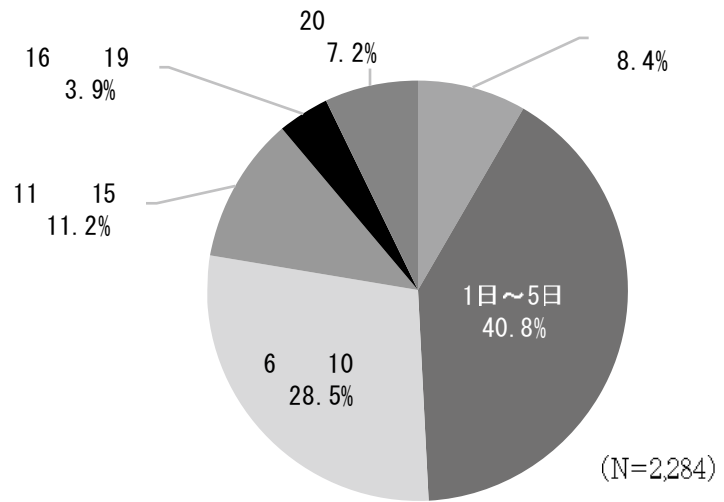


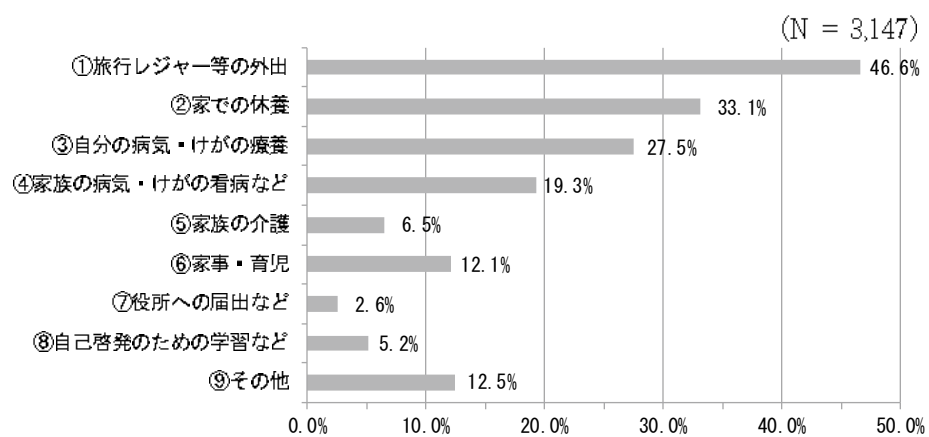
--	--	--	--	--	--	--

	平均日数
正規・フルタイム	27.5
非正規(フル除く)	21.0

N = 2,276

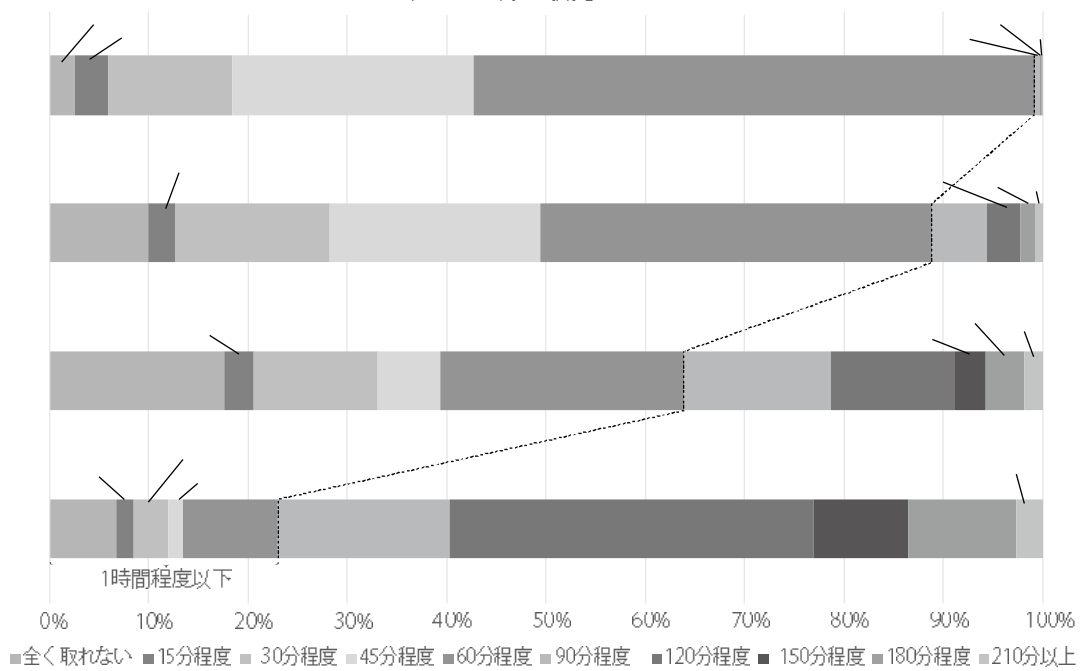
年休の取得状況







休憩・仮眠の取得状況



※複数夜勤職場：夜勤職場（P19）のうち、1人夜勤職場以外
一人夜勤職場：小多機・看多機、認知症高齢者グループホーム、サービス付高齢者向け住宅

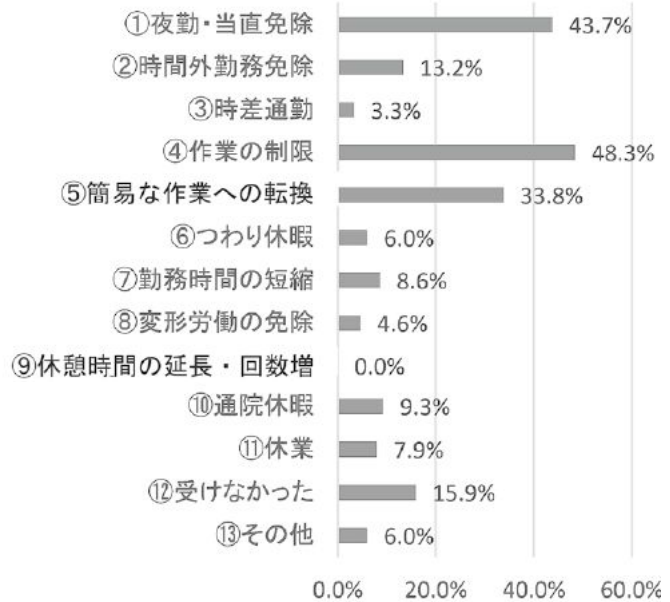
介護の現場では力仕事が多く体への負担が大きいと考えられますが、「軽易な作業への転換」は33.8%に過ぎません。これらの措置をひとつも「受けなかった」人が15.9%にのぼっており、人手不足の中で母性保護が徹底されていない実態が浮き彫りになっています。

問 16 職場内で妊娠出産に関するハラスメント（マタニティーハラスメント）がありましたか

妊娠・出産に関するハラスメント、いわゆるマタハラについて、「あった」が11.9%で、8人に1人が被害を訴えています。

記述欄には「出産後、『子どものいる職員ばかり優遇されている』とかけで言われたことがあった」「人員が足りないための夜勤、育休後の職場変更の説明不足」「安定期まで配慮が必要となっていたが、上司が部署に周知してくれなかったために負担業務の免除がされなかった。負担が重かったため出血につながった」「妊娠は順番にしてね」などが書かれており、人が人を支える介護の職場でありながら、子どもを生み育てながら働きつづける権利が侵害されていることが明らかになっています。

**母性保護の支援措置
(当てはまるものすべて)**



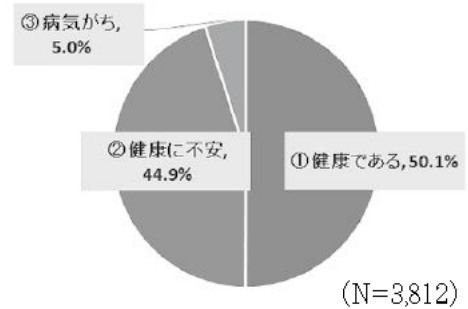
--

問 20. だれに相談したか (すべて)

パワハラ (相談先)

①上司	120	25.7%
②同僚	189	40.5%
③会社以外の友人	79	16.9%
④家族	102	21.8%
⑤相談窓口	11	2.4%
⑥労働組合	25	5.4%
⑦その他	13	2.8%
⑧相談していない	168	36.0%
回答者数	467	100.0%

問 22 あなたの今の健康状態はどうか



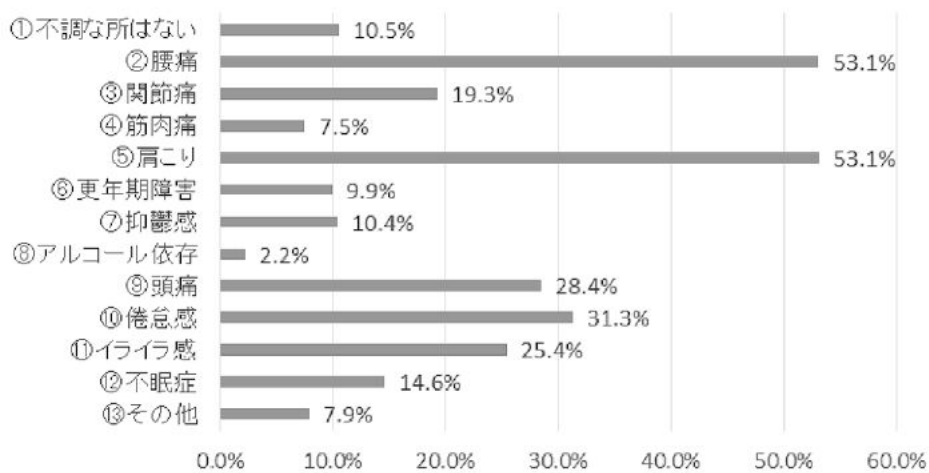
問 23. あなたの疲れの回復具合はどうか (N=3,812)

①疲れを感じない	99	2.6%
②疲れを感じるが、次の日までには回復している	1422	37.3%
③疲れが翌日に残ることが多い	1623	42.6%
④休日でも回復せず、いつも疲れている	668	17.5%

問 24 現在の体調について当てはまる症状があるものをすべて選んでください

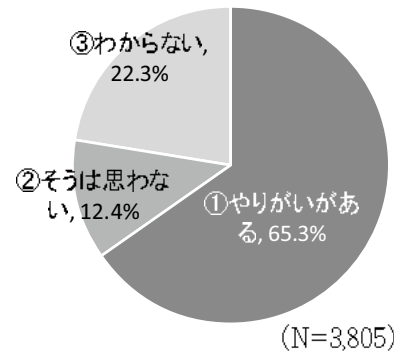
症状は、肩こりと腰痛が53.1%でならび、倦怠感31.3%、頭痛28.4%、イライラ感25.4%、関節痛19.3%の順で高い割合を示しました。

問 24 現在の体調について当てはまる症状があるものをすべて

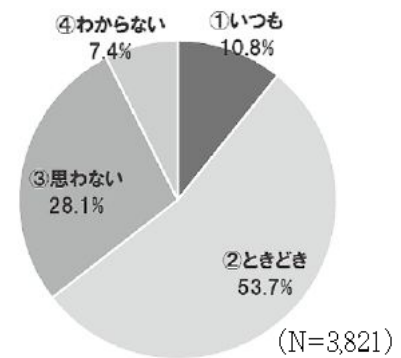


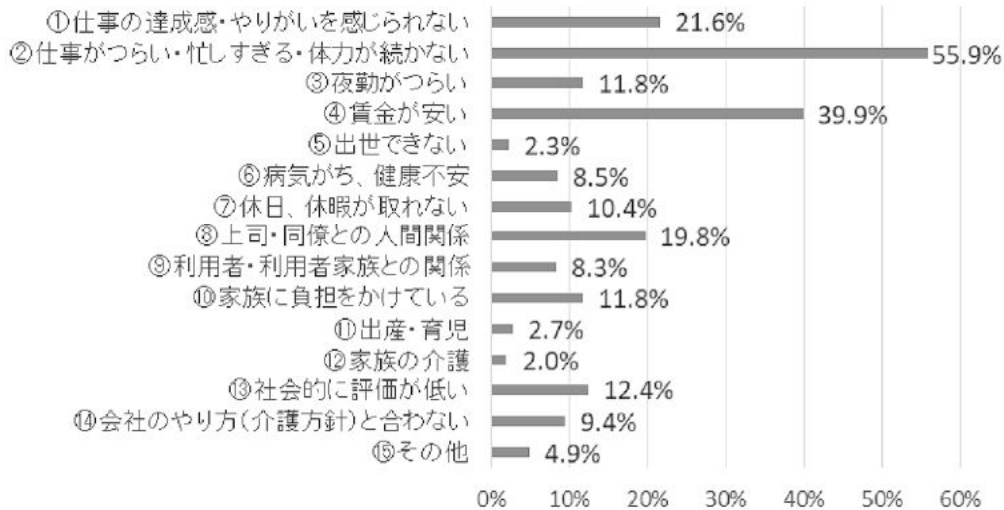
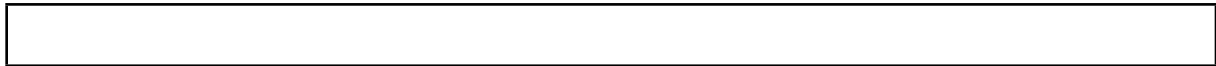
--

問 25 今の仕事はやりがいのある仕事
だと思いますか

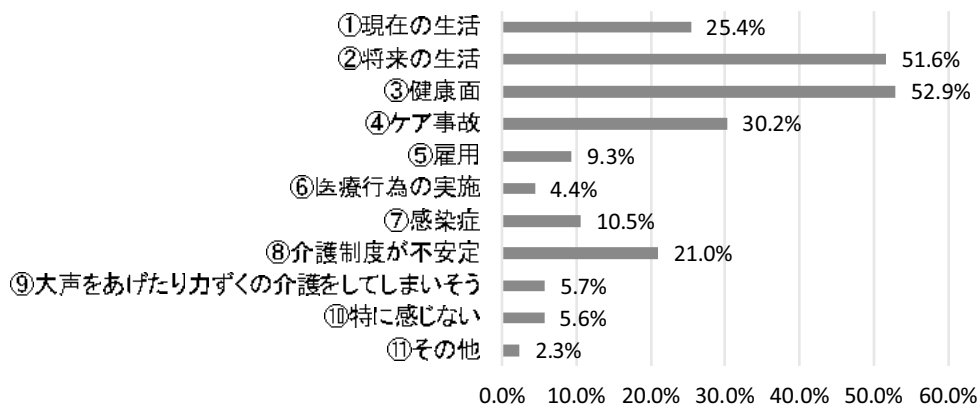


問 26 「もうやめたい」と思う
ことがあるか

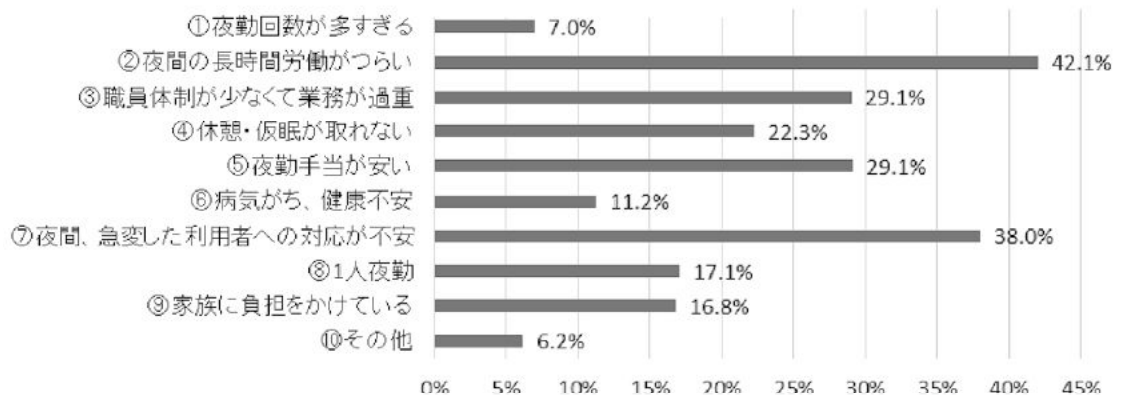
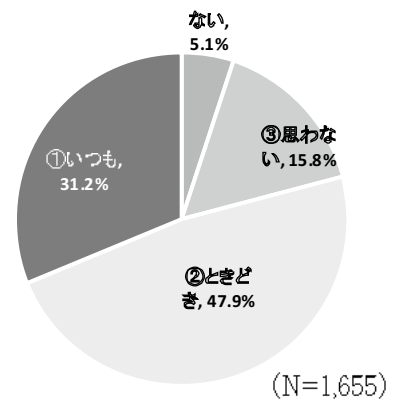




問 28 介護の仕事をする中で感じる不安



(N=3,574)

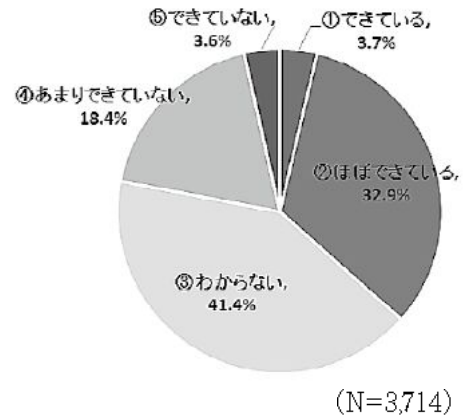


利用者に十分なサービスできているか「わからない」が増加

問 31 利用者に十分なサービスが提供できていますか

「利用者に十分なサービスが提供できているか」の問いに対し、最も多い回答は「わからない」の41.4%で、前回調査から9.5ポイント増加しています。自らのサービス提供の内容に迷いを感じている職員が増えていることがうかがえます。

一方、「できている」「ほぼできている」の合計は36.6%（前回31%）で、「あまりできていない」「できていない」の合計（22.0%）より高くなっており、前回調査から逆転しています。



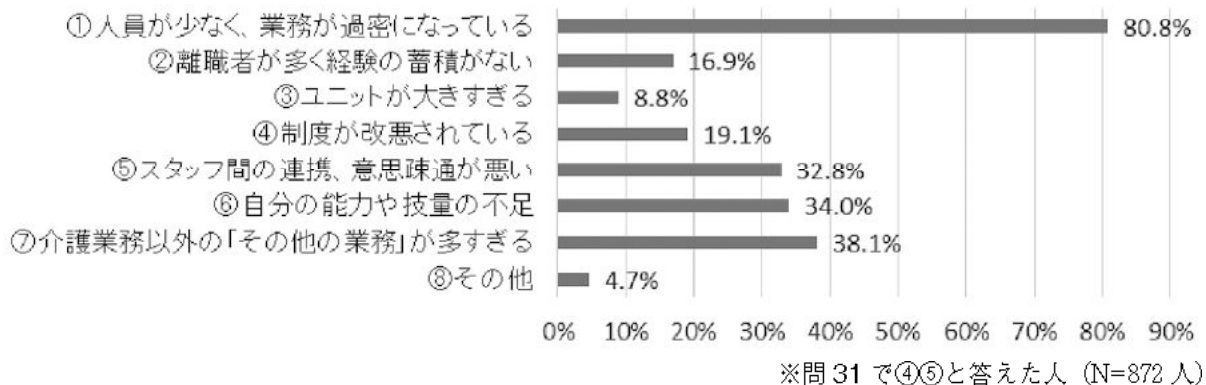
問 32. 十分なサービスができていない理由を3つまで選んでください

十分なサービスができていない理由（3つまで）を聞いたところ、8割以上が、「人員が少なく、業務が過密になっている」（80.8%）と答えています。続いて「介護業務以外の『その他の業務』が多すぎる」38.1%、「自分の能力や技量の不足」34.0%、「スタッフ間の連携、意思疎通が悪い」32.8%と続いています。

前回調査との比較では、「人員が少なく、業務が過密になっている」は3.1ポイント増の一方、「介護業務以外の『その他の業務』が多すぎる」が6.6ポイント減、「自分の能力や技量の不足」3.6ポイント減となっています。「制度が改悪されている」をあげた人が8.1ポイント増でほぼ倍加（前回11%）しているのが特徴的です。

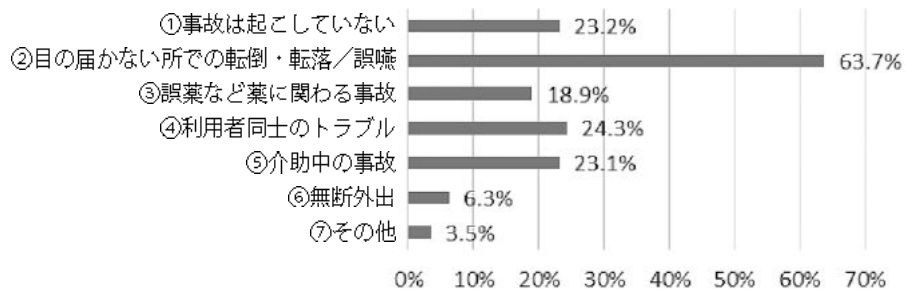
人員に改善が見られない中、経験不足・研修体制の不備などから、自らの技量に不安を感じながら働いていることがわかります。

問 32. 十分なサービスができていない理由（3つまで）



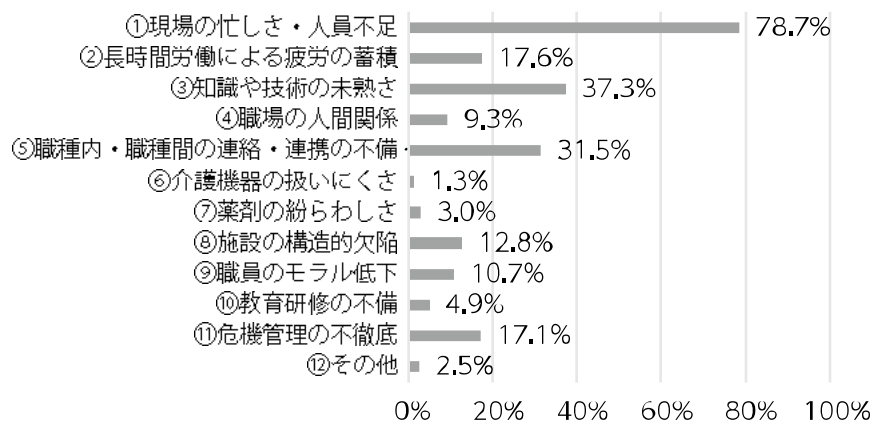


問 33 この一年間にあなたが関わった利用者に関する事故（すべて）

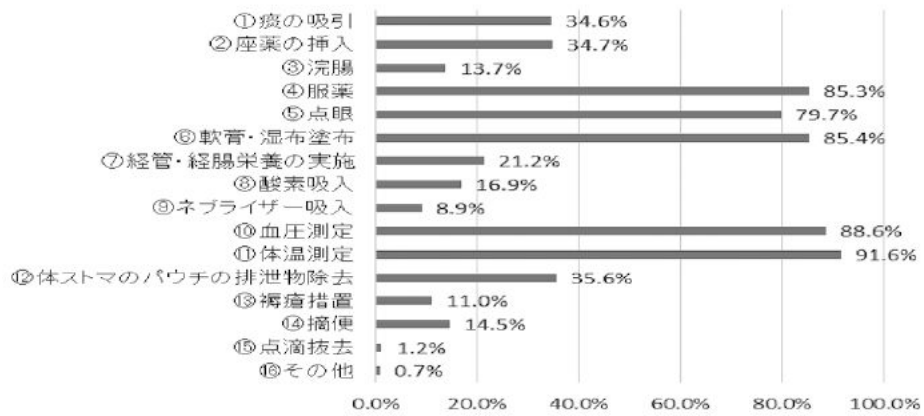
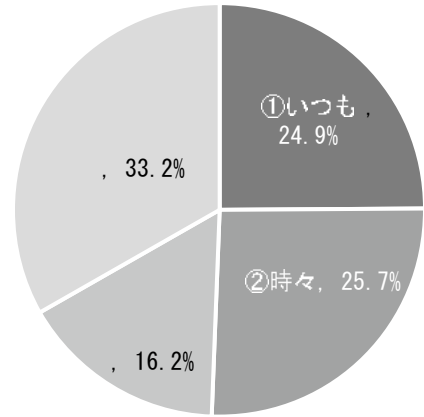


(N=2,852)

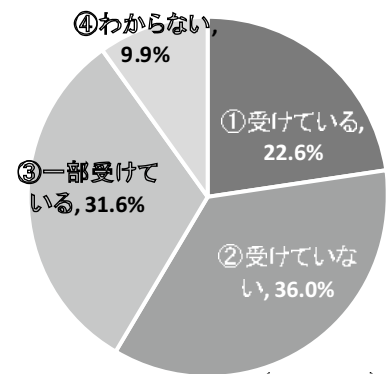
問 34 事故が起きる原因（3つまで）



(N=2,801)



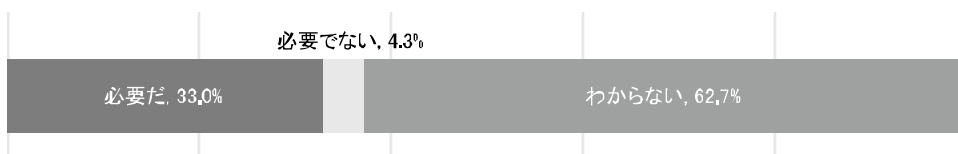
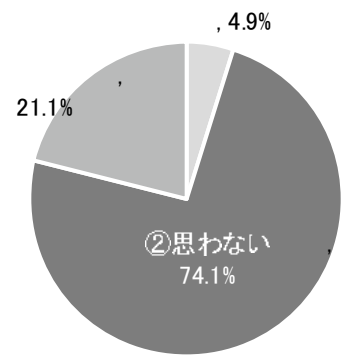
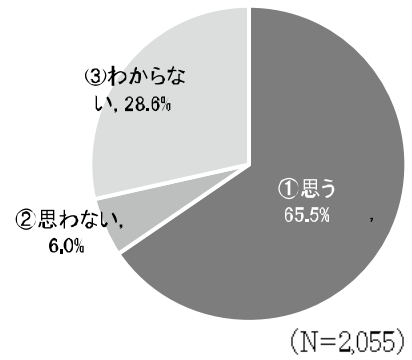
問 37 「医療行為」 についての研修



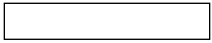
(N=1,546)

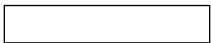
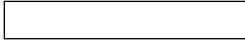
※有資格者を除く

問 38 介護の仕事をやっている
よかったと思う





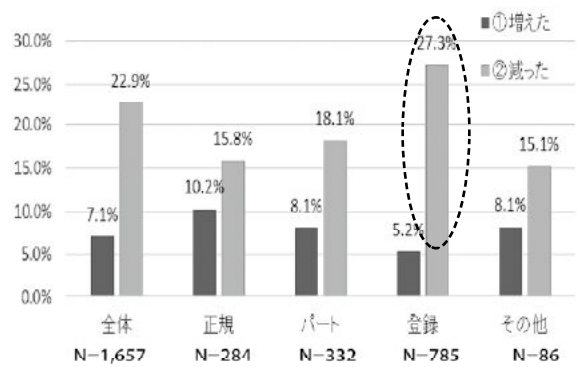
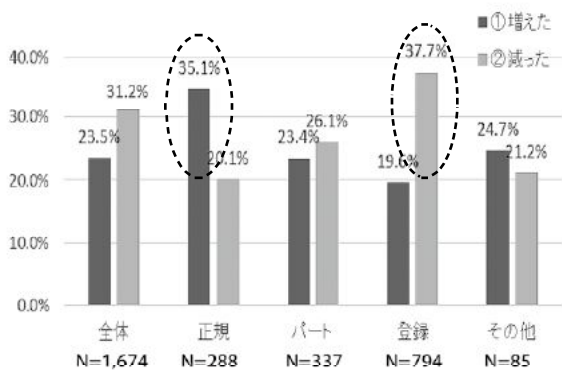


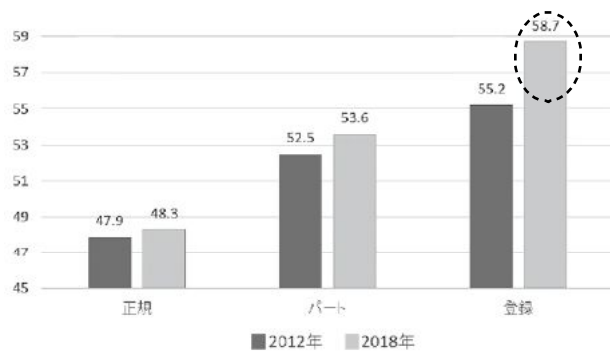
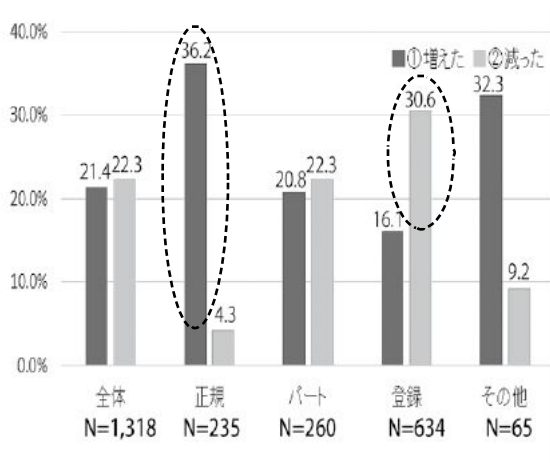
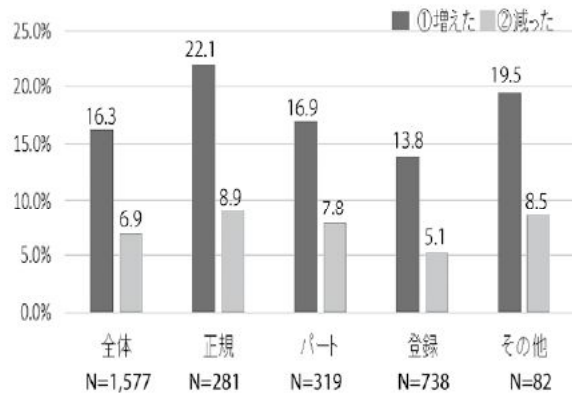
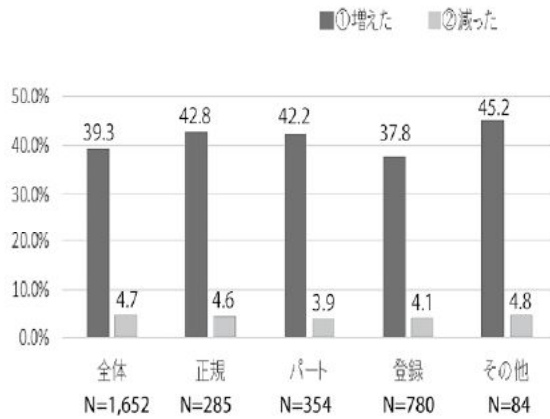


問 40 C. あなたの要望を何でもお書きください

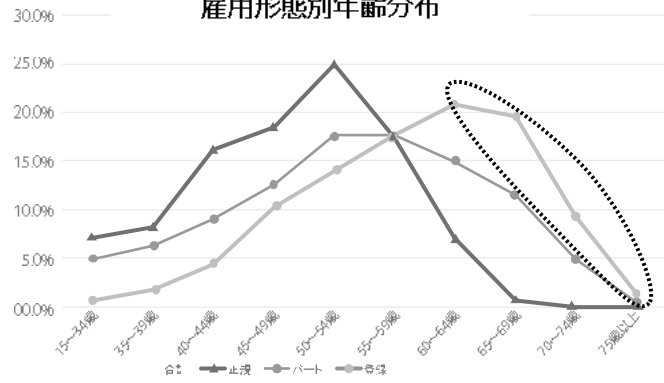
- ・介護職は嘆き悲しみ、辛さを感じる人間なのに、優しさだけを表現するロボットのように要求をされているように思う。全ての人がもっと命の限りについて冷静に考えなければならぬ。
- ・労働者をなめているといつか痛い目にあう。全国でストが起きたらどうなるでしょうか。私たちの仕事は命を左右する仕事。いつになったら危機感を持たれるのか。崩壊してからでは遅い。
- ・組合の方の職場をよくしようという働きで、今のシステムがあると思っています。組織が大きければ大きいほどやりにくいこともありますが、がんばってください。
- ・年数がたっていないので、医療行為かどうかかわからずやっていることがあると思う。ケアはどこまでやっているのか奥が深い。
- ・組合が本当に労働者のことを思っているものであることを望みます。
- ・もう少し給与を上げてほしい。夜勤手当も上げてほしい。いくら残ってもサービス残業なのでタイムカード制にしてほしい。
- ・娘のお産後の世話の為、休暇が欲しいがまとまった休みが取れない。このような場合の休暇を作って欲しい。夜勤明け後、3～4時間の会議へ参加しなければならない職場の方針はおかしいと思う。
- ・労組に入っているメリットをもっと感じられるものに。勉強会（介護技術と制度など）も行って欲しい。
- ・常勤の人たちの労働環境が過酷すぎる。結果、非常勤も遠慮する部分が出てくる。
- ・現場を離れた人がまたやりたいと思える魅力ある職業にしてほしい。外国人に頼らなくても大丈夫。
- ・パートもボーナスがあればもっと働く人が増えるのかなあとと思う。土日祝も時給が上がったらうれしいと感じる。
- ・男女平等でない環境になっているので変えてほしい。賃金を上げてほしい。
- ・介護に携わる方の未来があかるくなるような社会になってほしい。
- ・必要な仕事だし、やりがいもあります。それが給料に全く反映されていません。必要とされているのに…どうして政府は考えてくれないのですか？生活していきません！！怒りしかない。
- ・若い職員の育成と現職員の離職をなくしていかないといけない。本当に介護が必要な方に介護が受けられなくなならない様にしてほしい。
- ・ケアマネに対しての賃金が職種によって違う。同じ仕事しているのに差別だと思う。異動に対して断るとやめなくてはいけないような対応がある。交通費は最短ルートで出してほしい。パワハラに関しては早急に対応してほしい。
- ・多くの方が加入して組合を大きくして行政への交渉を数多くできればよいと思う。
- ・生理休暇は生理でなくとも女性の体調バランスを保つための目的でとらせてほしい。更年期でも1日休めるように。女性メンテナンス休暇。
- ・これから外国人労働者が介護にも入ってくるのでますます低賃金になるのではないか。
- ・「子育てしながらも働きやすい職場」とかかっているかもしれないが、実際なかなか難しい。時短勤務も子どもがもう少し大きくなるまでとれる猶予があればと思う。他の職場はけっこう長く時短勤務がとれるらしい。人手不足で残業を必ずしないといけない。子どもに負担がかかっている、今後心配。



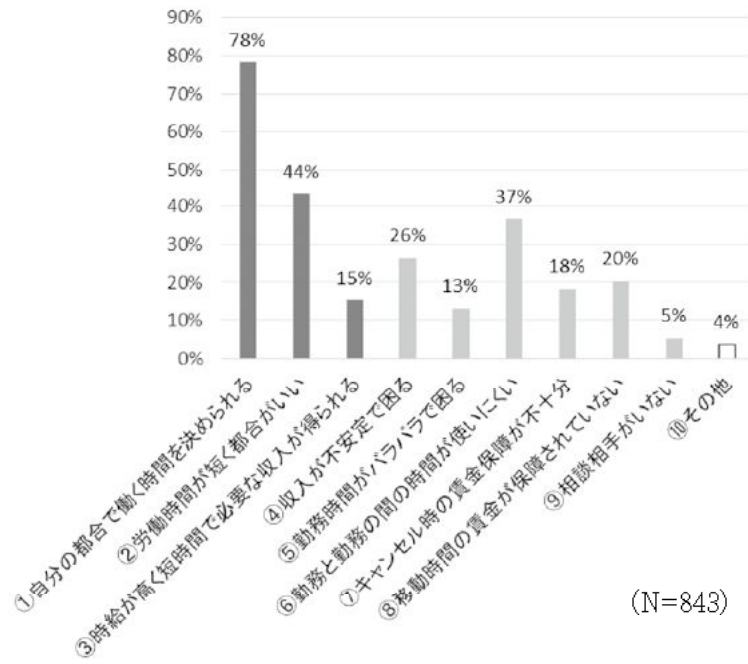




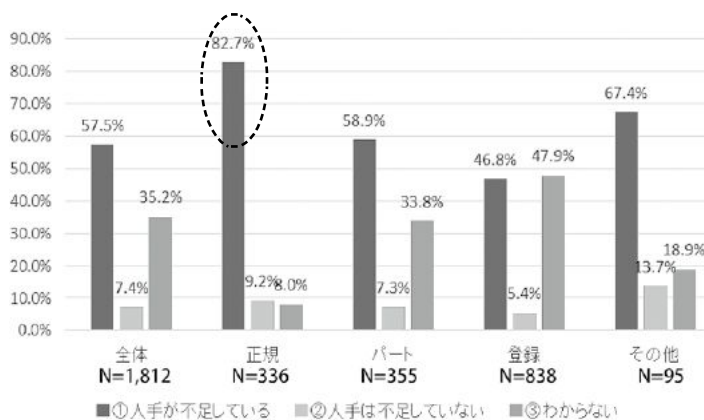
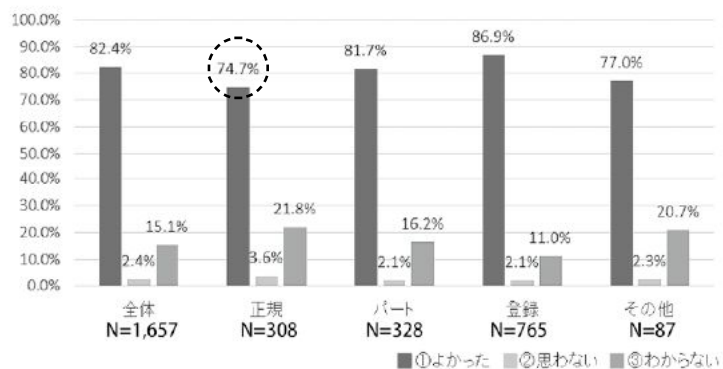
雇用形態別年齢分布



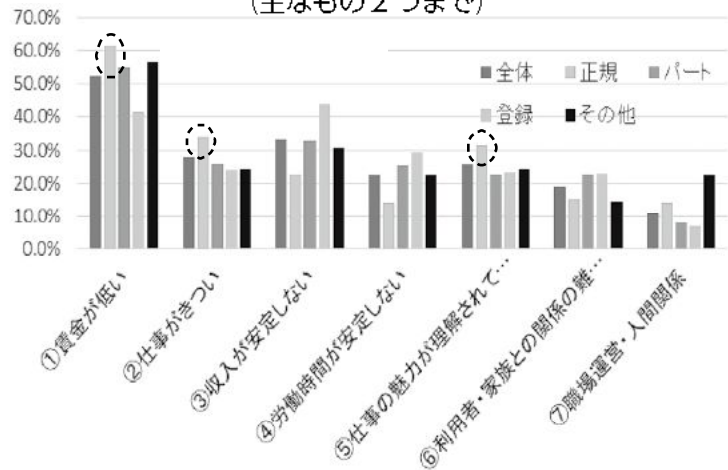
登録ヘルパーの働き方

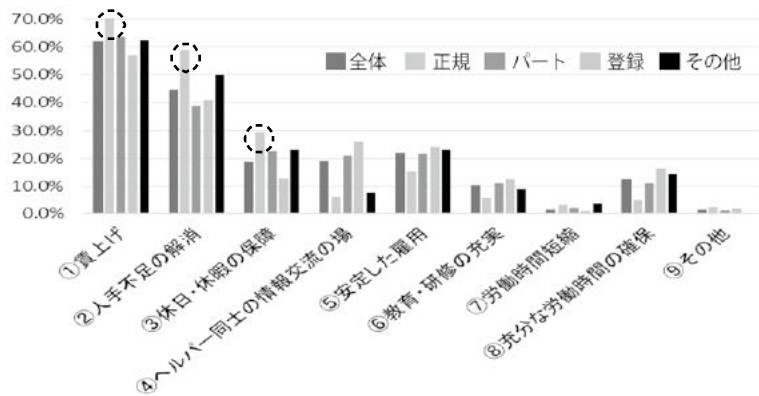


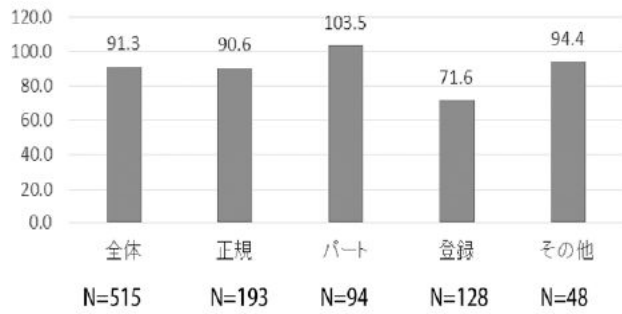
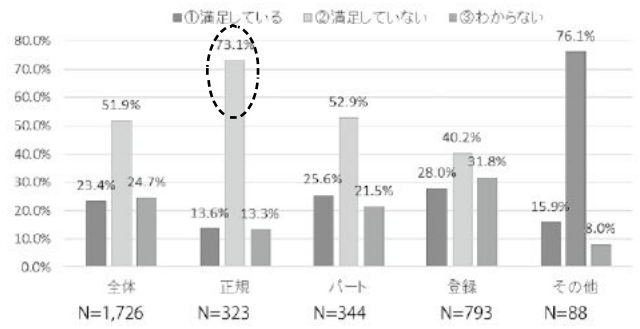
(N=843)

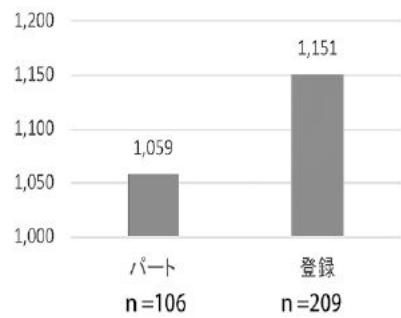


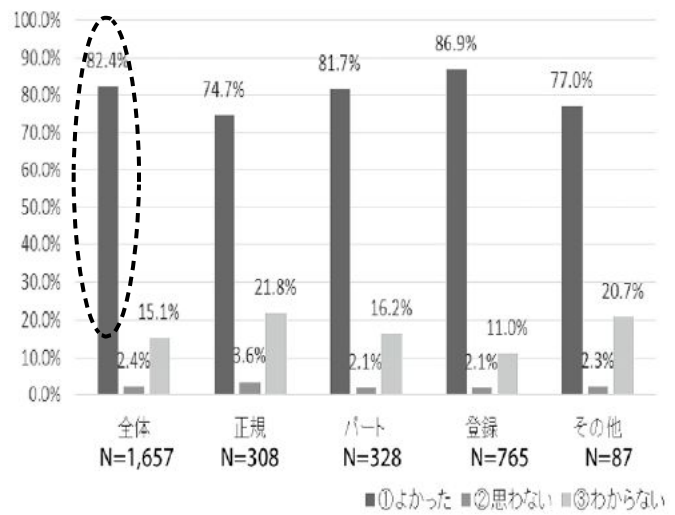
(3) 人手不足の原因と思われる項目を選択してください。
(主なものを2つまで)

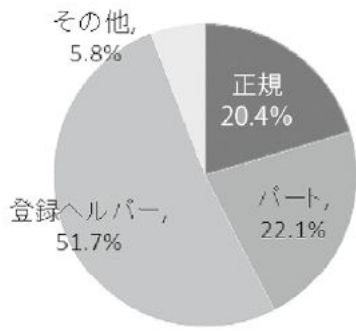


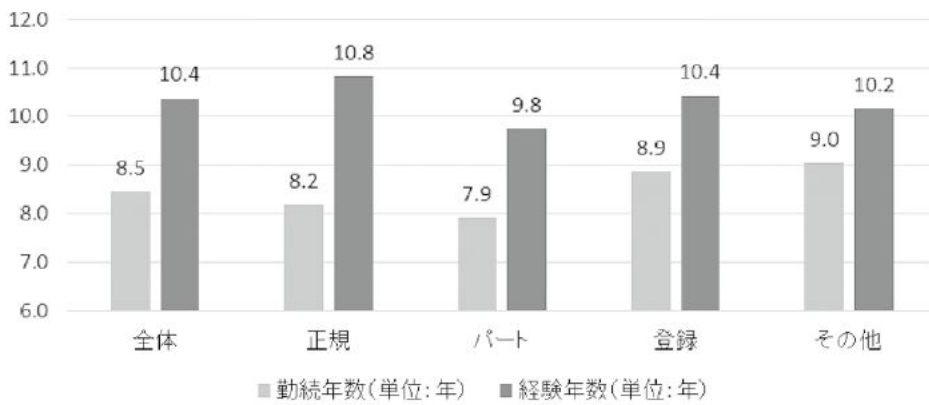


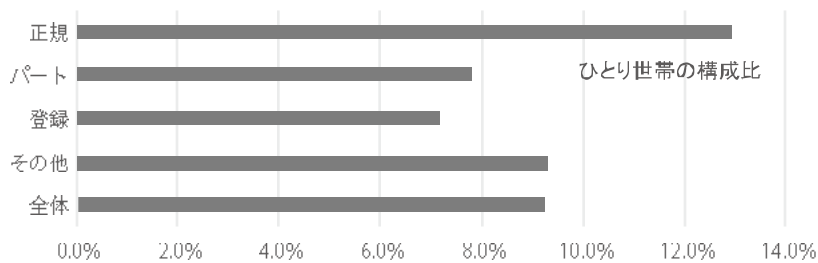


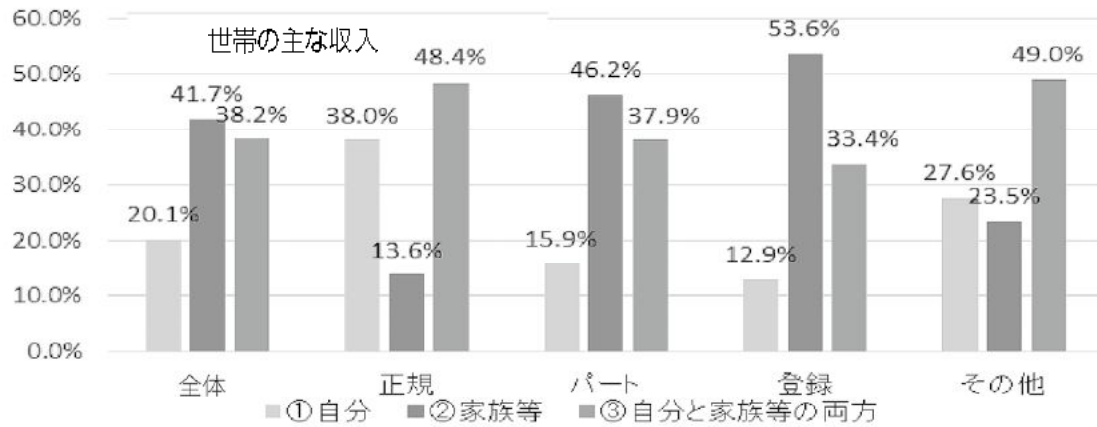


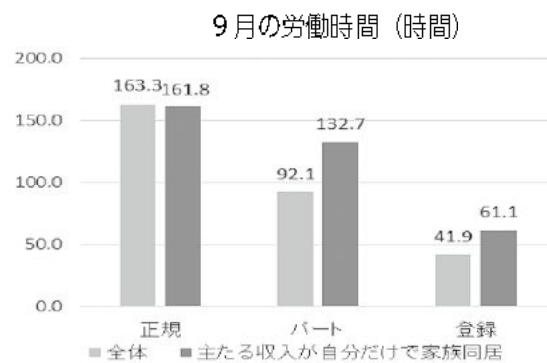
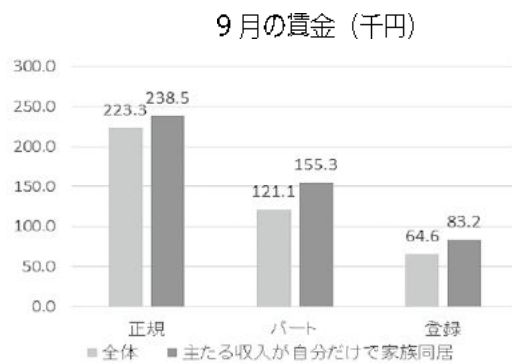












9月の賃金

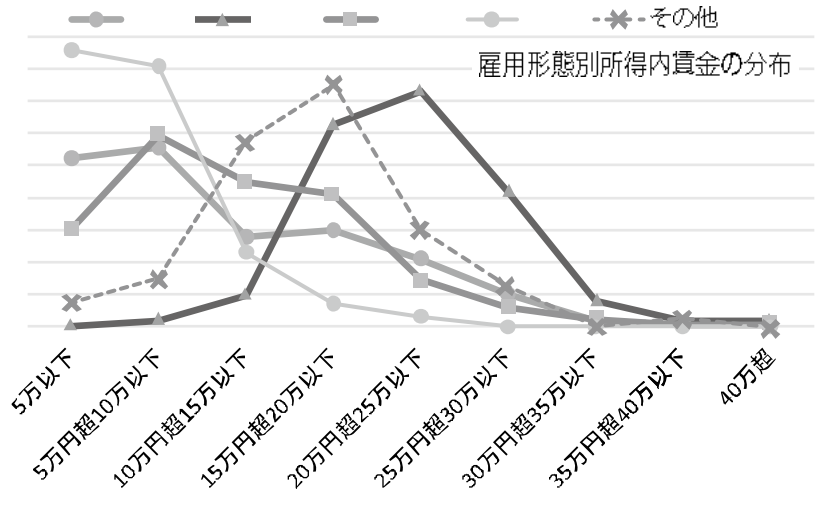
(単位：千円)

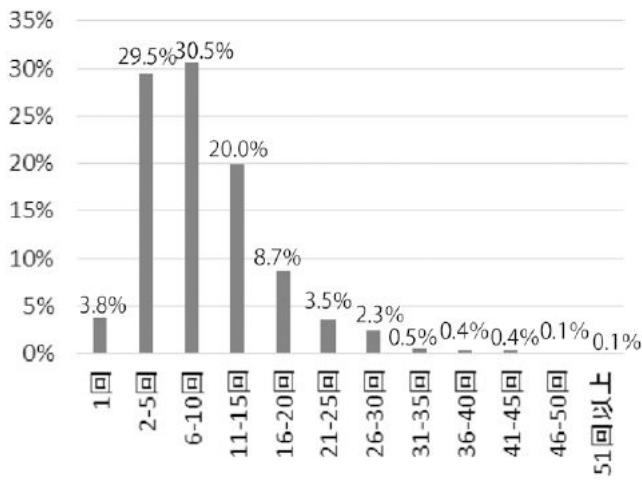
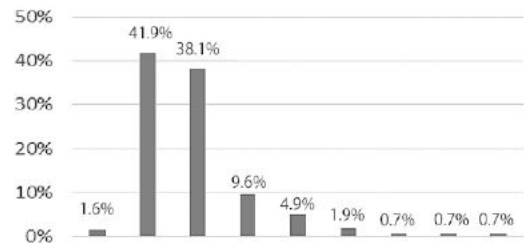
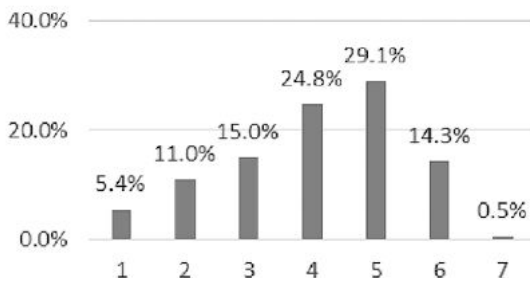
	全体	正規	パート	登録	その他
全体	114.5	223.3	121.1	64.6	166.9
世帯収入「自分」かつ「家族と同居」	175.6	238.5	155.3	83.2	184.4

9月の労働時間

(単位：時間)

	全体	正規	パート	登録	その他
全体	81.3	163.3	92.1	41.9	141.6
世帯収入「自分」かつ「家族と同居」	127.9	161.8	132.7	61.1	160.2



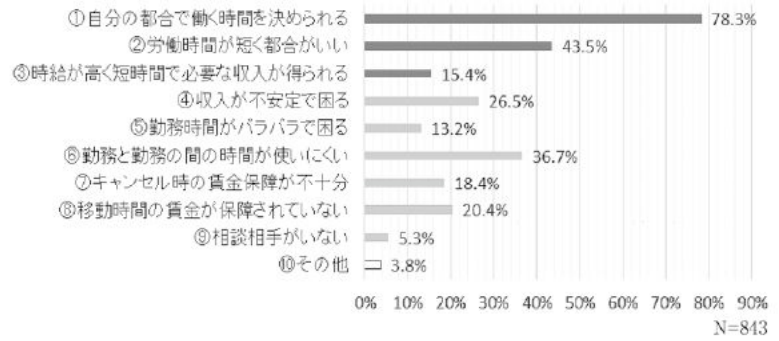


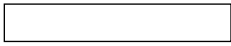
	人数	割合
1時間以内	47	7.0%
2時間以内	101	15.0%
3時間以内	112	16.6%
4時間以内	102	15.1%
5時間以内	108	16.0%
6時間以内	84	12.5%
7時間以内	56	8.3%
8時間以内	32	4.7%
9時間以内	21	3.1%
10時間以内	6	0.9%
11時間以内	4	0.6%
12時間以内	1	0.1%
平均(単位:分)	251	

登録ヘルパーの月収差 (万円)

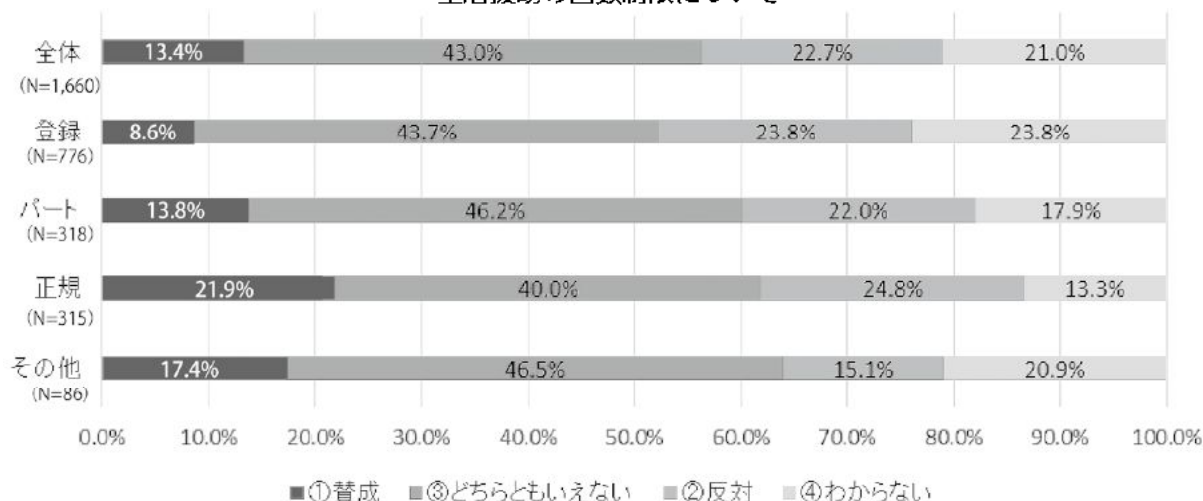
一番多い月の月収	8.58
一番少ない月の月収	5.19
月収差 (多 - 少)	3.40

登録ヘルパーの働き方について (再掲)





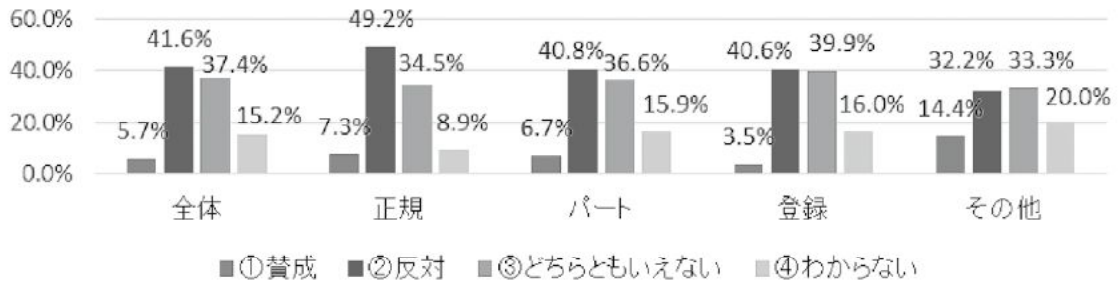
生活援助の回数制限について



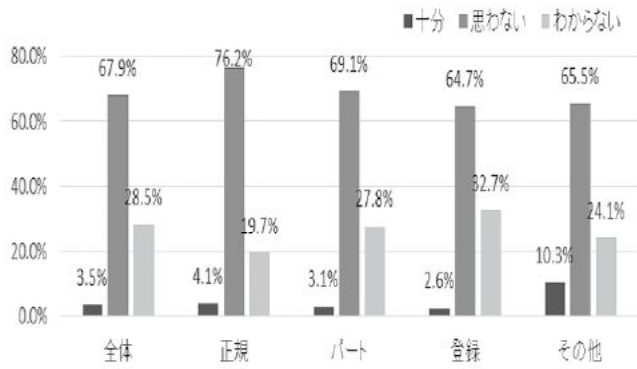
	回答者数					構成比				
	全体	正規	パート	登録	その他	全体	正規	パート	登録	その他
①提供した	757	225	153	257	54	46.4%	71.7%	48.4%	34.7%	61.4%
②提供していない	260	46	53	119	11	16.0%	14.6%	16.8%	16.1%	12.5%
③わからない	613	43	110	364	23	37.6%	13.7%	34.8%	49.2%	26.1%
合計	1,630	314	316	740	88					

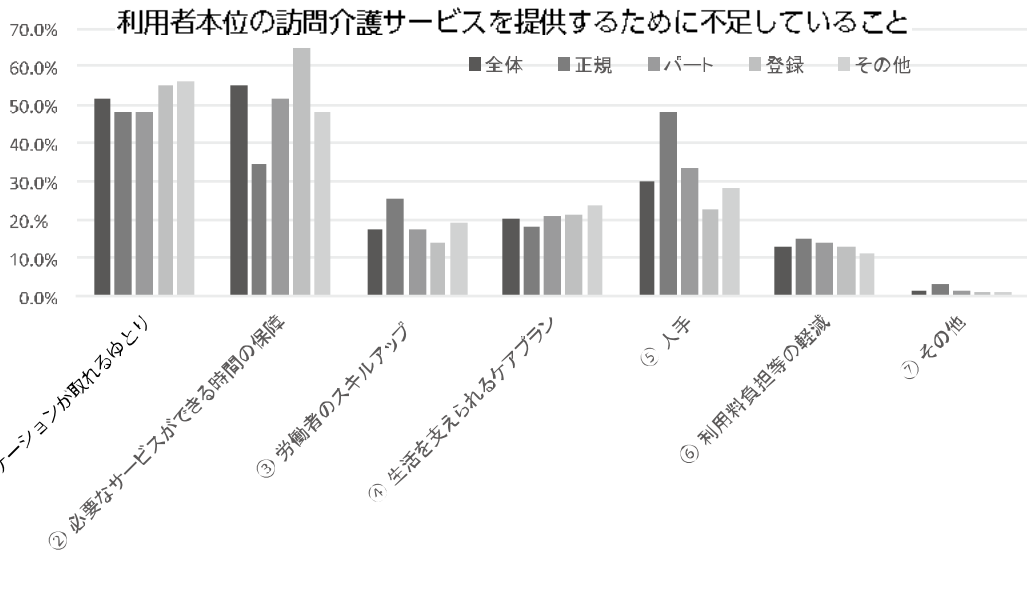
(3) 総合事業では、市町村の実施する研修（数時間から 20 数時間程度）を受けたボランティアが、ヘルパーとして働けることになっていますが、どのように思われますか。また要支援の利用者を総合事業に移行させたことについてどのように感じられていますか。[意見（自由記述）は P 66]

要介護1・2の生活援助の介護保険外しについて

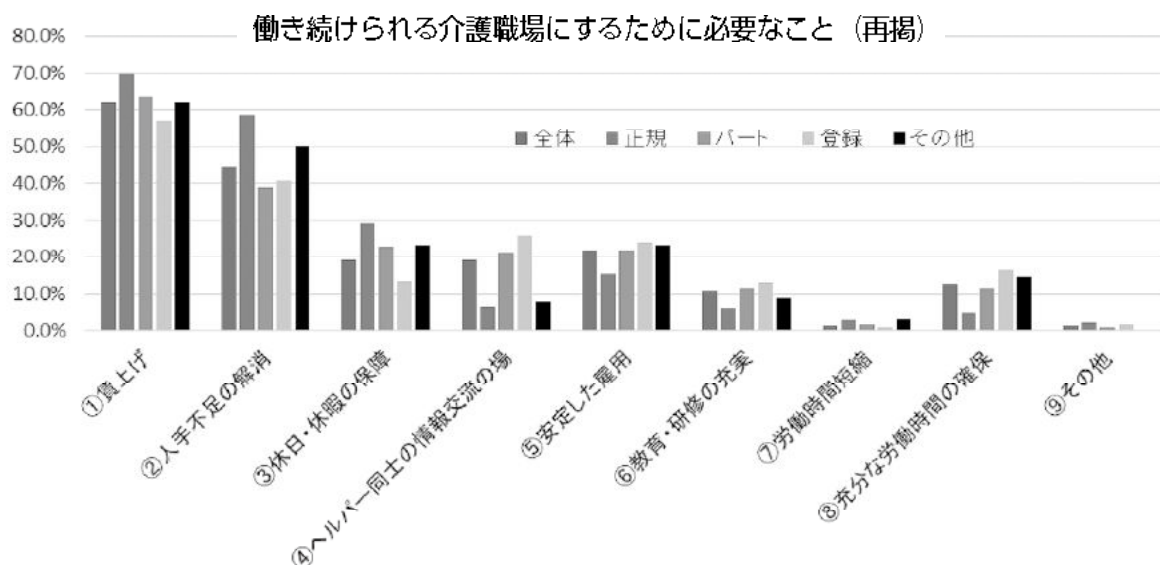


賃上げ必要額 (月給)	回答者数					構成比				
	全体	正規	パート	登録	その他	全体	正規	パート	登録	その他
10千円以下	17	3	2	11	0	3.3%	1.6%	2.1%	8.6%	0.0%
20千円以下	49	11	9	19	6	9.5%	5.7%	9.6%	14.8%	12.5%
30千円以下	82	34	15	19	8	15.9%	17.6%	16.0%	14.8%	16.7%
40千円以下	21	8	2	8	2	4.1%	4.1%	2.1%	6.3%	4.2%
50千円以下	104	54	15	12	10	20.2%	28.0%	16.0%	9.4%	20.8%
100千円以下	116	48	19	34	9	22.5%	24.9%	20.2%	26.6%	18.8%
150千円以下	27	0	10	11	2	5.2%	0.0%	10.6%	8.6%	4.2%
200千円以下	40	8	11	12	4	7.8%	4.1%	11.7%	9.4%	8.3%
250千円以下	31	13	5	1	5	6.0%	6.7%	5.3%	0.8%	10.4%
300千円以下	28	14	6	1	2	5.4%	7.3%	6.4%	0.8%	4.2%
平均 (単位：千円)	91.3	90.6	103.5	71.6	94.4					



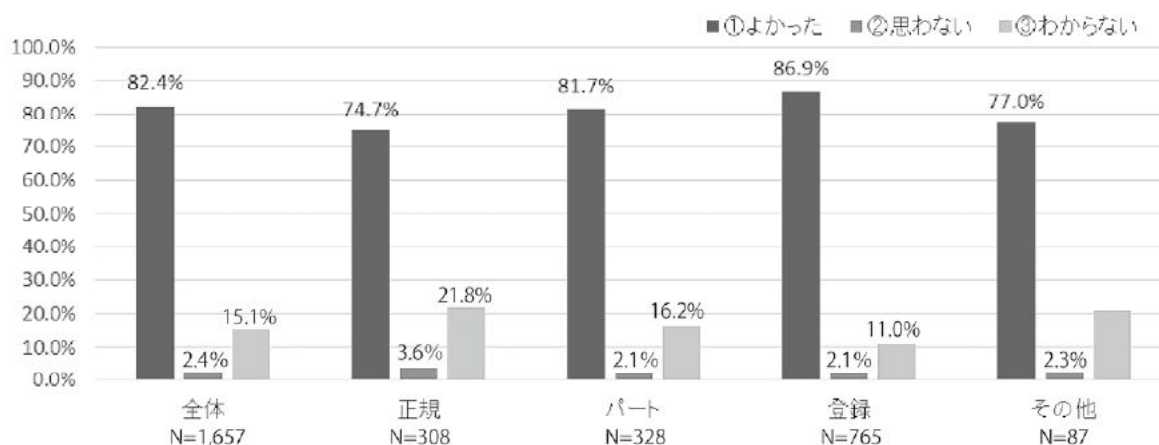


12. 働き続けられる介護職場にするために必要なことは何ですか。(2つまで)
 働き続けるために必要なことは「賃上げ」が最も多く、次いで「人手不足の解消」となりました。(表は P46)



13. あなたは介護の仕事をやっているよかったですか。

(1) 介護の仕事をやっているよかったですか

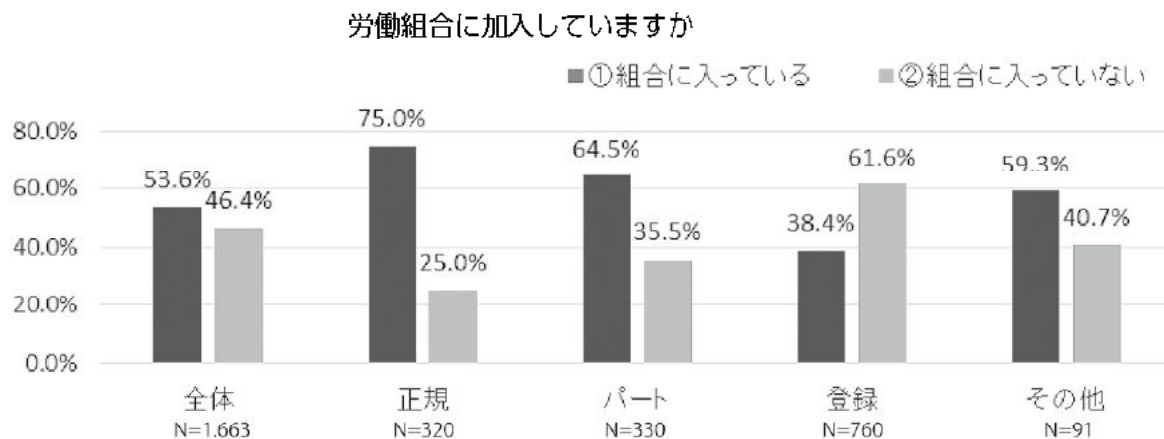


(2) その理由は何ですか。[意見 (自由記述) は P 70]

14. 労働組合についてお伺いします。

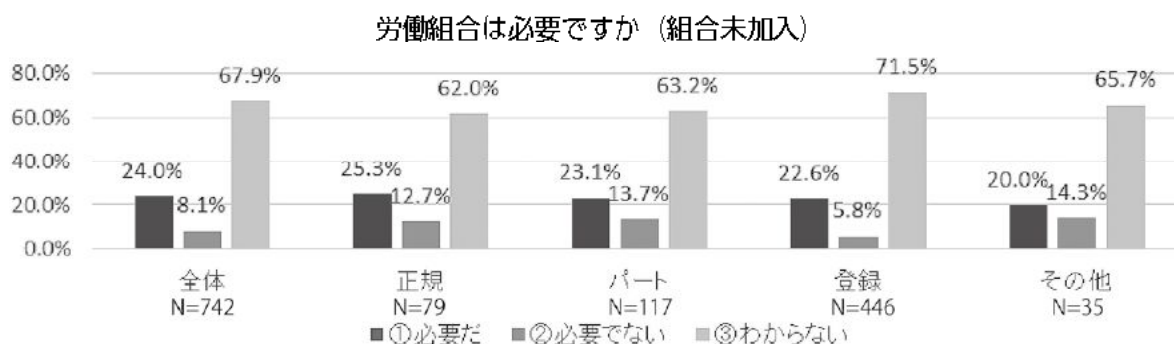
(1) 組合加入の有無をお知らせください。

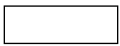
今回のアンケートでは46.4%が労組未加入者でした。アンケートが幅広い方に広げられた結果が表れています。

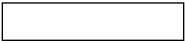


(2) 組合は必要ですか。

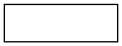
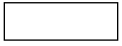
労働組合未加入の方でも、約4人に1人(24.0%)は労働組合が必要と回答しました。不要との回答者(8.1%)の約3倍となっています。一方、「わからない」という方が67.9%にも達しており、労働組合の活動を知らせる努力が必要です。

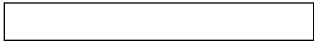
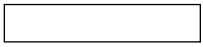


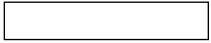
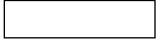


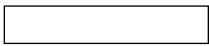












14 (4) あなたの要望をなんでも

- ・移車している時の精神的負担(次の援助が30分以内でないともったくでないなんておかしい)。
- ・介護の仕事内容は多分全国どこでも同じだと思うが、賃金は事業所によって、県によって全然違う。そこに納得できない。
- ・登録ヘルパーは、仕事が少なくなれば、給料も少なくなります。安定した給料が頂けるよう仕事を常に入れて頂きたい。
- ・人手不足が原因と思いますが、自由に休みが取れないのが現状です。休み希望を出すときは、罪悪感に近いものを感じます。登録の意味って何でしょうか？
- ・登録ヘルパーの募集をしても、賃金の安さ、収入が不安定という理由で、人が増えない。訪問介護員をすべて常勤(月給制)にしても、赤字にならないような報酬が入ってくるといい。
- ・各種保険に入っていないので不満です。自分の車を使用していますので、それに対して、もう少し保障されるべきです。
- ・介護保険料を払っていても受けられない制度の改善を。
- ・介護は楽しい。楽しい介護を学べる場がもっともっと必要。研修や教育にもっと税金を投入すべき。
- ・子育て、介護、家事労働は誰にでもできる仕事ととらえられ、社会的評価も低い。ヘルパーは事例の検討、研究、発表する体制をつくり、専門性を高める必要がある。組合も必要。
- ・訪問介護のヘルパー賃金を見直し、人員を増やす事(若手)障害者援助(全て見直し)(2人対応)負担が強すぎる為。
- ・制度の見直しなど現場を知らない人々が決めているのではないかと感じる。介助者の賃上げはありがたいが、スキルアップできる環境の充実も考えてほしい。
- ・何故介護職に人材(特に若い世代)が不足しているのか。労働内容(精神的な負担)が賃金とつりあってなさすぎだから。仕事の理念や仕事内容を考えたらもっと賃金を高くして、ヘルパー側の目線で受け皿作らないとますます不足していくと思う。
- ・登録ヘルパーの場合、1日30分の仕事しかない日もあります。1日、コンスタントに朝から夕まで何件かあればと思います。ヘルパーからお願いするのではなく、事務所が各ヘルパーの仕事状態を把握していただけたらと思います。
- ・サービスをやるにあたり、1件当たりの時間が短すぎる(サービス残業をするしかない)。
- ・利用者の暴言やクレームがあるとヘルパーの力不足とされ、サ責は利用者の肩を持ち、ヘルパーは守られない。上記の理由で相談しても改善はないので、その利用者を断ると嫌な顔をされ、仕事を回されなくなる。利用者に気を使い過ぎでは。理不尽には毅然と対応するべきだと思います
- ・ヘルパー先への訪問に1時間、サービスに1時間、帰宅に1時間かかるとき、3時間働いても1時間のお給料なのでなるべく自宅に近い訪問先を希望したいと思っています。
- ・登録ヘルパーの車の維持代、任意保険代などを助成してほしい。
- ・ヘルパーの移動時間すべてに賃金支払が必要だと思う。(事業所に寄る時間は入っていない)
- ・援助時間も短くなってしまい利用者さんとの交流も減ってしまった。介護職は精神的、体力的にも負担がかかります。よく世間で問題になっているモラハラ、パワハラも介護職は仕方ないとされている部分が多いように思います。有給を取っても1日の働き時間の30%分しかもらえません。給与面がとても不安定で将来に希望が持てません。介護職はとても魅力的でやりがいもありますが不安がぬぐえません。利用者さんが入院された時、長期の時は身動き出来、その分給与も減るので不安。
- ・働いている仲間全員が労働組合に入って一緒に働きやすい職場にしていきたいですね。
- ・いろいろな人に聞かれた時ブラック企業といっている。会社は上の人がいっぱいお金もらって下の者には与えない。

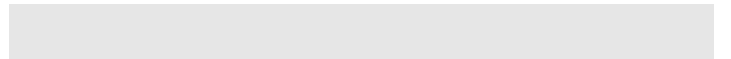
介護労働実態調査－施設(入所・通所)・居宅介護支援事業所用

2018年 全労連介護・ヘルパーネット

この調査は、介護現場の労働実態を把握し、「介護職員増やせ」「働き続けられる介護職場づくり」などの運動と、介護保険制度改善に役立てていくためのものです。みなさんのご協力をお願いします。

※特にことわりのない場合、当てはまる番号を回答欄に記入してください。

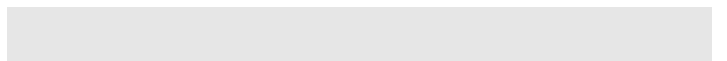
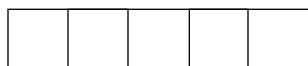
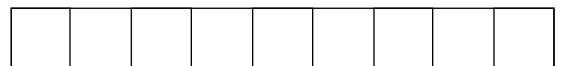
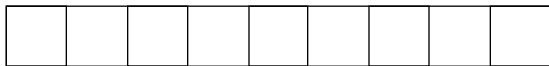
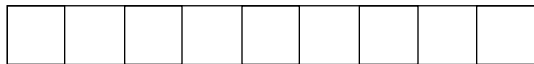
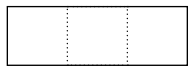
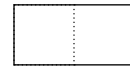
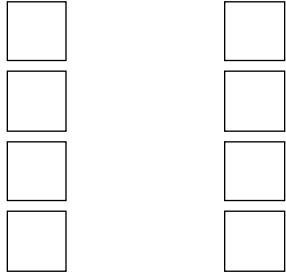
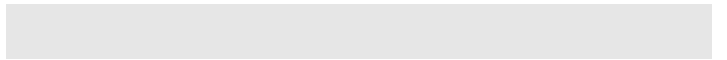
--	--	--	--	--	--

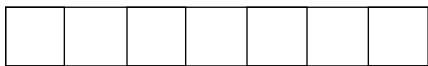
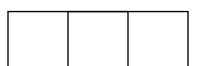
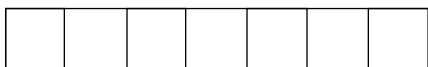
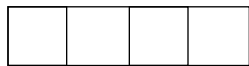
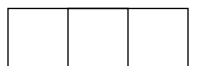
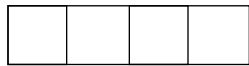
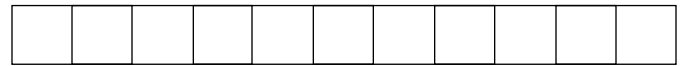
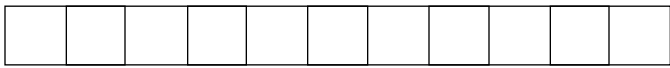
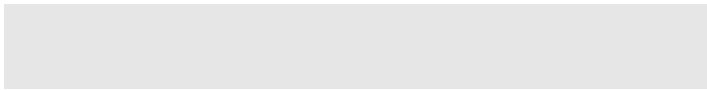


--	--	--	--

--	--	--	--

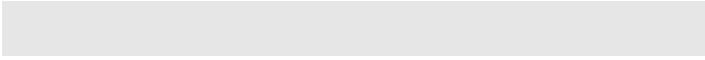
--	--	--	--	--	--



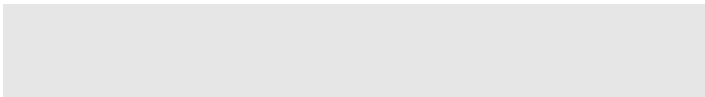


--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

--	--	--



--	--	--



--	--	--	--	--	--	--	--

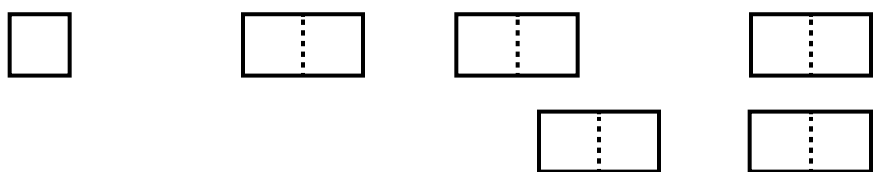
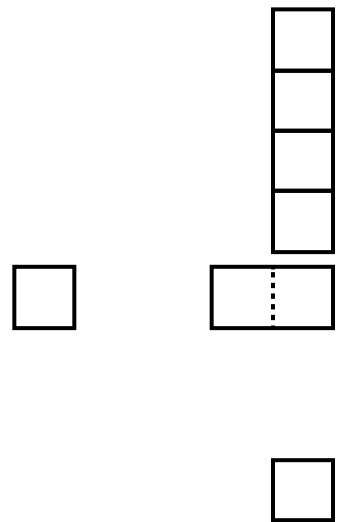
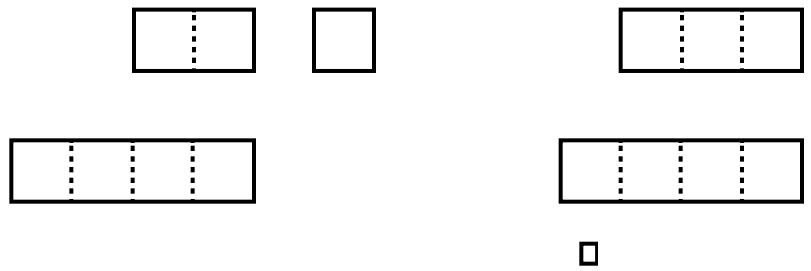
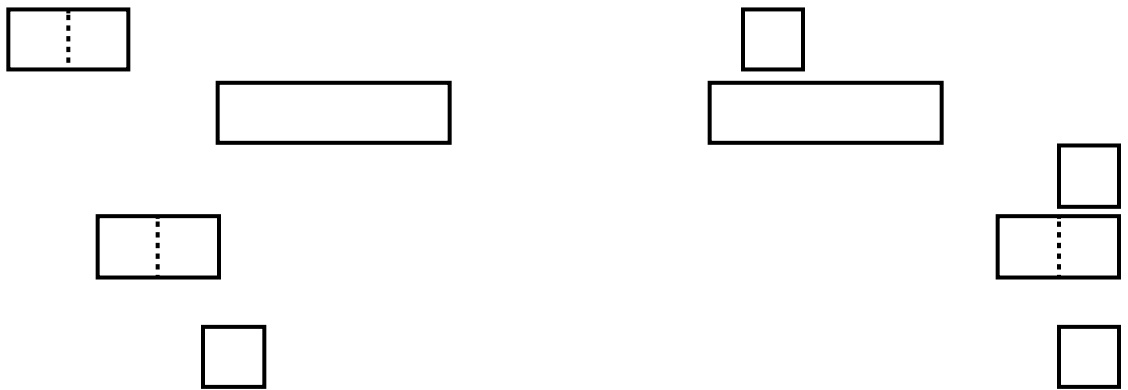
--	--	--

質問は以上で終わりです。お忙しいところ調査にご協力いただき、ありがとうございました。

本調査でご回答いただいた内容は、統計的に処理・集計され、個人が特定されることはありません。また、集計した内容は調査の目的以外には使用いたしません。

アンケート用紙は労働組合や事業所にお届けください。わからないときは下記まで送ってください。

全労連介護・ヘルパーネット 〒113-8462 文京区湯島2-4-4 全労連会館4F FAX 03-5842-5620/TEL 03-5842-5611



分

--	--

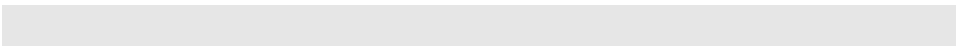
--	--

 千円

--	--	--



--	--	--	--	--	--	--	--	--	--



--	--

--	--

[

]

--

--

--

[

]

[

]

--

--

--	--

--

千円

--	--	--	--



記述



全国労働組合総連合

〒133-8362

東京都文京区湯島 2-4-4
全労連会館 4階

TEL03-5842-5611

2019年5月発行